取扱説明書

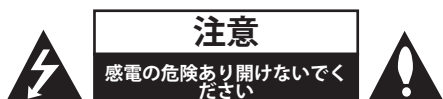
ネットワーク対応
ブルーレイディスク/DVDプレーヤー

本製品を使用する前に取扱説明書をよくお読みのうえ、後から参照できるように保管してください。

モデル
BD560

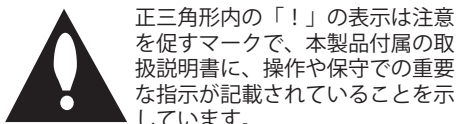
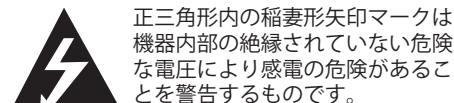
P/NO : MFL62881832

1
安全上のご注意

注意

感電の危険あり開けないでください

注意: 感電の危険性をなくすためにカバー (または裏面)を開けないでください。製品内部にはお客様ご自身で修理できる部品はございません。修理が必要な場合は、認定されたサービス担当者にご連絡ください。

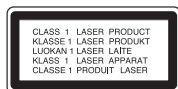
正三角形内の稲妻形矢印マークは機器内部の絶縁されていない危険な電圧により感電の危険があることを警告するものです。

正三角形内の「！」の表示は注意を促すマークで、本製品付属の取扱説明書に、操作や保守での重要な指示が記載されていることを示しています。

注意と警告

警告:火災や感電を防止するため、本製品を雨や湿気にさらさないでください。

警告:本機を本棚などの狭い場所に設置しないでください。

注意:開口部を塞がないでください。製造メーカーの指示に従って設置してください。
キャビネットの溝や開口部は、本製品が正常に動作し、過熱を防止するためのものです。本製品をベッドやソファー、カーペットなどの上に置いて、開口部を絶対に塞がないでください。適切な換気があり、製造メーカーの指示が守られている場所でない限り、本製品を備え付けの本棚やラックに置かないでください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
KLASSE 1 LASER PRODUKT
LUOKAN 1 LASER LAITE
KLASS 1 LASER APPARAT
CLASSE 1 PRODUIT LASER

注意:本製品はレーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくために、この取扱説明書を熟読し、今後の参照のために保管してください。機器の修理点検が必要な場合は、当社に承認されたサービスセンターにお問合わせください。
ここに規定された以外の手順による操作や調整を行うと、危険なレーザー放射にさらされる可能性があります。
レーザービームの直視を避けるために、筐体は開けないでください。内部では可視のレーザービームが照射されています。レーザービームをのぞき込まないでください。

レーザ放射
光学器具で直接ビームを見ないこと
クラス 1M レーザ製品

注意電源コードについて

ほとんどの機器は専用コンセントに設置することを推奨します。

これは、その機器だけに電源供給をする単一のコンセントであり、追加や分岐回路のないコンセントを意味しています。この取扱説明書の仕様ページをご覧になり、ご確認ください。壁のコンセントの定格負荷を超える使い方はしないでください。壁のコンセントの過負荷、ゆるくて損傷している壁のコンセント、延長コード、擦り切れた電源コード、絶縁体がひび割れ損傷したコードを使用するのは危険です。いずれの場合も、感電や火災の原因になります。機器の電源コードは定期的に点検し、破損や劣化がある場合はコンセントからコードを抜き、製品のご使用を中止し、承認されたサービスセンターが指定する製品に合うコードと交換してください。電源コードは、曲げたり、ねじったり、締めつけたり、ドアを閉める際に挟んだり、踏みつけるなど、物理的や機械的に不適切な使用をしないように注意してください。プラグや壁のコンセント、製品本体のコード接続部分は特に注意してください。主電源を切る場合は、本体の電源プラグを抜いてください。本製品を設置の際は、近くにコンセントがあることを確認してください。

本製品はポータブル電源または蓄電池を装備しています。

製品から安全に乾電池または電池パックを取り出す方法 : 古い乾電池または電池パックを取り外す場合は、取り付けた時と逆の順序で行ってください。環境汚染を防止し、人や動物の健康への脅威を引き起こさないために、古い乾電池または電池パックを適切な容器に入れ、指定の収集場所に置いてください。乾電池や電池パックを他の廃棄物と一緒に処理しないでください。お住まいの地域の、乾電池や蓄電池の無料償還制度をご利用になることをお勧めします。火の近くや日光があたる場所など、極度な高温になる場所に電池を置かないでください。

注意:本機が水滴やはね水を受けないように、液体の入った花瓶などを本体の上に置かないでください。

本機は主電源プラグを遮断装置として使用しております。 主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置へ容易に手が届くようにして下さい。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

著作権に関するご注意

- BD フォーマットの規格は、著作権保護技術である AACS (Advanced Access Content System) に承認されているため、DVD フォーマットでの CSS (Content Scramble System) と同様、AACS で保護されたコンテンツの再生やアナログ信号出力などに特定の制限が課せられています。本製品の生産後に AACS により承認か変更、またはその両方が行われる可能性があるため、お客様の購入時期により製品の動作や制限が異なります。
- また、BD フォーマットの著作権保護技術として BD-ROM Mark や BD+ も採用されており、BD-ROM Mark か BD+、またはその両方にて保護されたコンテンツでは、再生制限などの特定の制限が課せられています。AACS、BD-ROM Mark、BD+、または本製品に関する詳細については、当社が認証する顧客サービスセンターにお問い合わせください。
- BD-ROM や DVD ディスクの多数が複製防止のために暗号化されています。このためプレイヤーは、直接テレビと接続し、ビデオは接続しないでください。ビデオに接続すると、不正コピー防止機能のディスクで画像が乱れる原因となります。
- 本製品は、米国特許およびその他の知的財産権によって保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。お客様によるリバース、または分解することは法律で禁止されています。
- 米国著作権法およびその他の国の著作権法の下で、無断で録音・録画、利用、展示、頒布をすること、またはテレビ番組、ビデオテープ、BD-ROM ディスク、DVD、CD やその他の媒体の編集をすることは、民事や刑事責任またはその両方を科せられる場合があります。

内容

1
安全上のご注意

2
準備

3
インストール

4
操作

5
お手入れについて

6
よくあるトラブルと解決方法

7
補足説明

2 準備

ご使用の前に

「⊘」 記号の表示について

操作中でのテレビ画面に、「⊘」が表示されたときは、この取扱説明書で説明されている機能が、その特定のメディアで利用できないことを示しています。

この取扱説明書で使用されている記号

注記

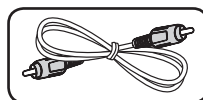
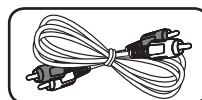
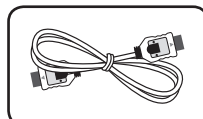
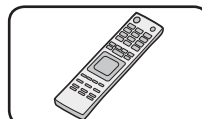
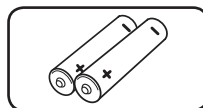
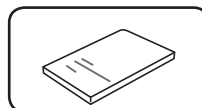
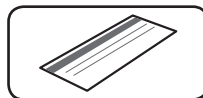
特定の注意と操作の特徴を示します。

注意

乱暴な取り扱いによる故障を防ぐための注意を示します。

タイトルに下記の記号のある項目は、その記号のディスクだけに適用されます。

BD	BD-ROMディスク
DVD	DVDビデオ、ビデオモードまたは VRモードでファイナライズされた DVD±R/RW
AVCHD	AVCHD 形式の DVD±R/RW
ACD	オーディオCD
MOVIE	USB/ディスクに記録された映画ファイル
MUSIC	USB/ディスクに記録された音楽ファイル
PHOTO	写真ファイル

付属品

ビデオケーブル (1本)

オーディオケーブル (1本)

ＨＤＭＩケーブル (1本)

リモコン (1個)

乾電池 (2本)

取扱説明書 (本書)（1部）

保証書（1部）

再生できるディスク

	ブルーレイディスク - 販売やレンタルされている映画などのディスク。 - 映画、音楽、または写真ファイルが記録された BD-R/RE ディスク。
	DVDビデオ (8 cm / 12 cm ディスク) 販売やレンタルされている映画などのディスク。
 	DVD±R (8 cm / 12 cm ディスク) - ビデオモードで記録され、ファイナライズされているディスクのみ - デュアルレイヤーディスク対応 - AVCHD 規格でファイナライズされているディスク - 映画、音楽、または写真ファイルが記録された DVD±R ディスク。
	DVD-RW (8 cm / 12 cm ディスク) - VRモードやビデオモードで記録され、ファイナライズされているディスクのみ - AVCHD 規格でファイナライズされているディスク - 映画、音楽、または写真ファイルが記録された DVD-RW ディスク。
	DVD+RW (8 cm / 12 cm ディスク) - ビデオモードで記録され、ファイナライズされているディスクのみ - AVCHD 規格でファイナライズされているディスク - 映画、音楽、または写真ファイルが記録された DVD±R ディスク。
	オーディオCD (8 cm / 12 cm ディスク)
	CD-R/RW (8 cm / 12 cm ディスク) 音楽タイトル、映画、音楽、または写真ファイルが記録された CD-R/RW ディスク。

注記

- 記録装置、または CD-R/RW （または DVD±R/RW） ディスクの状態によっては、本機で再生できない CD-R/RW （または DVD±R/RW） ディスクがあります。
- ソフトウェアの記録方法やファイナライズによっては、記録したディスク（CD-R/RW、DVD±R/RW、または BD-R/RE） が再生できない場合があります。
- パソコン、DVDレコーダー、CDレコーダーで記録した BD-R/RE、DVD±R/RW や CD-R/RW ディスクは、ディスクが破損または汚れていたり、プレイヤーのレンズに汚れや結露があると、再生できない場合があります。
- パソコンを使って記録したディスクは、ディスクを作成する際に使用したアプリケーションのソフトウェアの設定によって、共通フォーマットで記録されていても再生できない場合があります。（詳細についてはソフトウェアの発売元にお問い合わせください。）
- 高画質で再生するには、ディスクや記録方法が技術的な一定の基準を満足している必要があります。
- あらかじめ収録されている DVD は、これらの基準が自動的に設定されています。記録可能なディスクのフォーマットには、多数の種類 （MP3 や WMA のファイル名の拡張子が付いた CD-R など） がありますが、再生の互換性を保つために、これらには特定の決まった条件があります。
- インターネットから MP3/WMA ファイルや音楽をダウンロードするには許可が必要であることにご注意ください。当社にはそのような許可を与える権利はありません。常に著作権所有者の許可が必要です。
- 書き換え可能なディスクをフォーマットする際に当社製のプレイヤーと互換性のあるディスクを作成するには、ディスクフォーマットの項目を［マスタ］に設定する必要があります。項目が ライブシステム に設定されている場合は、当社製のプレイヤーでディスクを使用することはできません。(マスタ/ライブファイルシステム :Windows Vista でのディスクのフォーマット形式)

ファイルの互換性

全般

利用可能なファイル拡張子：
「.jpg」、「.jpeg」、「.png」、「.avi」、「.divx」、「.mpg」、「.mpeg」、「.mkv」、「.mp4」、「.mp3」、「.wma」、「.wav」

- 本機に対応しない wav ファイルもあります。
- ファイル名は 180 文字に制限されています。
- ファイルのサイズやファイル数によって、メディアのコンテンツの読み込みに数分かかる場合があります。

最大ファイル/フォルダー数 :2000 まで（ファイルおよびフォルダーの合計数）
CD-R/RW、DVD±R/RW、BD-R/RE 形式：
ISO 9660+JOLIET、 UDF および UDF Bridge 形式

ムービー

利用可能な解像度のサイズ：
1920 x 1080 (横 x 縦) ピクセル
再生可能な字幕ファイル形式: SubRip (.srt / .txt)、SAMI (.smi)、SubStation Alpha (.ssa/.txt)、MicroDVD (.sub/.txt)、VobSub (.sub)、ASubViewer 1.0 (.sub)、SubViewer 2.0 (.sub/.txt)、TMPlayer (.txt)、DVD Subtitle System (.txt)
再生可能なコーデック フォーマット :
「DIVX3.xx」、「DIVX4.xx」、「DIVX5.xx」、「XVID」、「DIVX6.xx」（標準再生のみ）、H.264/MPEG-4 AVC、AMPEG1 SS、AMPEG2 PS、MPEG2 TS
再生可能な音声 フォーマット :
「Dolby Digital」、「DTS」、「MP3」、「WMA」、「AAC」、「AC3」

- すべての WMA および AAC オーディオフォーマットとの互換性があるわけではありません。

サンプリング周波数 :32～48 kHz (WMA)、16～48 kHz (MP3) の範囲内
ビットレート:20～320 kbps (WMA)、32～320 kbps (MP3) の範囲内

注記

- CD または USB に記録された HD 映画ファイル1.0/1.1 は適切に再生されないことがあります。HD 映画ファイルの再生には、BD、DVD、USB 2.0 を推奨します。
- 本機は、H.264/MPEG-4 AVC メインプロファイル、最大音量 Level 4.1 までに対応します。より高いレベルのファイルの場合、画面に警告メッセージが表示されます。
- 本機は、GMC*1 または Qpel*2 で記録されているファイルには対応しません。これらのフォーマットは DivX または XVID が持つような、MPEG4 標準のビデオエンコーディング技術です。

  *1 GMC – Global Motion Compensation (グローバル動き補償)
  *2 Qpel – Quarter pixel (1/4 動き補償)

音楽

サンプリング周波数:8～48 kHz (WMA)、11～48 kHz (MP3) の範囲内
ビットレート:8～320 kbps (WMA、PM3) の範囲内

注記

- 本機は、MP3 ファイルの ID3 タグに対応していません。
- 画面に表示される VBR ファイルのトータル再生時間は正確でない場合があります。

写真

推奨サイズ：
4000 x 3000 ピクセル/ 24 ビット未満
3000 x 3000 ピクセル/ 32 ビット未満

- プログレッシブと可逆圧縮（ロスレス圧縮）の写真ファイルには対応していません。

リージョンコード

本機の背面には、リージョンコードが印刷されています。本機では、背面に印刷されたラベルと同じリージョンコード、またはリージョンコード「ALL」の BD-ROM、 DVD ディスクのみ再生することができます。

AVCHD規格 (Advanced Video Codec High Definition)

- 本機は、AVCHD規格で記録されたディスクを再生できます。このディスクは通常ビデオカメラの録画に使用されます。
- AVCHD 規格は、ハイビジョンデジタルビデオカメラの記録方式です。
- MPEG-4 AVC/H.264 フォーマットは、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮率で画像を圧縮することができます。
- 「x.v.Color」規格を採用する AVCHD ディスクもあります。
- 本機は、「x.v.Color」規格を採用している AVCHD ディスクを再生できます。
- 記録状態によっては、再生できない AVCHD 規格のディスクもあります。
- AVCHD 規格のディスクは、ファイナライズする必要はありません。
- 「x.v.Color」は、通常の DVD ビデオカメラのディスクと比べ広い色域を提供できます。

必要なシステム環境

高解像度の映像を再生するには：

- D端子、コンポーネント または HDMI 入力端子を装備した高解像度ディスプレイ
- 高解像度コンテンツを収録した BD-ROM ディスク
- コンテンツによっては、HDMI または HDCP 対応 DVI 入力端子のあるディスプレイ機器が必要な場合があります（ディスク作成者により指定されています）。
- 不正コピー防止されているコンテンツでの標準解像度の DVD のアップコンバージョンでは、HDMI または HDCP 対応 DVI 入力端子のあるディスプレイ機器が必要です。

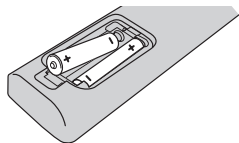
ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、 DTS-HD などのマルチチャンネルオーディオの再生には：

- アンプやレシーバに、デコーダー (ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、 DTS、 DTS-HD) の搭載。
- 選択したオーディオフォーマットに対応するメインスピーカー、センタースピーカー、サラウンドスピーカー、およびサブウーファーが必要です。

互換性についての注意

- BD-ROM は新しい規格のため、特定のディスク、デジタル接続、およびその他の互換性などで問題が発生する可能性があります。互換性による問題が発生した場合は、当社が承認したカスタマーサービスセンターにご連絡ください。
- 高解像度のコンテンツを観賞したり、標準の DVD コンテンツをアップコンバージョンするには、HDMI に対応した入力端子、または HDCP 対応の DVI 入力端子のあるディスプレイ機器が必要です。
- BD-ROM や DVD ディスクには、操作や機能の使用を制限するものもあります。
- 本機の音声出力に HDMI 接続を使用すると、ドルビーTrueHD、ドルビーデジタルプラス、DTSHD は、最大 7.1 チャンネルの音声出力に対応できます。
- USB デバイスを利用して、インターネットでダウンロードしたコンテンツのディスク関連の情報を保存することができます。この情報を保管する期間の管理を、ご使用のディスクで行うことができます。

リモコン

乾電池の挿入

リモコンの裏にある電池カバーを取り外し、2 本の単4形乾電池(R03/AAA)を、⊕と⊖の向きを正しく合わせて挿入します。

・・・・・・ 1 ・・・・・・

⏻ (電源) ボタン: 本機の電源をオン/オフします。

⏏ (開/閉): ディスクトレイの開/閉をします。

0〜9 番号ボタン: メニューの項目番号を選択するか、キーパッドメニューの文字を入力してください。

クリア: 検索メニューのマークや設定したパスワードの番号を解除します。

リピート: 選択したセクションやシーケンスを繰り返し再生します。

・・・・・・ 2 ・・・・・・

◀◀/▶▶ (巻戻し/早送り): 早送り/早戻しをします。

⏮/⏭ (スキップ): 前や次のチャプター/トラック/ファイルに進みます。

■ (停止): 再生を停止します。

▶ (再生): 再生を開始します。

❚❚ (一時停止): 再生を一時停止します。

・・・・・・ 3 ・・・・・・

ホーム (⌂): [ホームメニュー] を表示/終了します。

ミュージックID: ネットワークに接続すると、映画の再生中に視聴している曲の情報を得ることができます。

かんたんメニュー (□): かんたんメニューを表示/終了します。

矢印ボタン: メニューの項目を選択します。

決定 (◎): 選択したメニューを決定します。

戻る (↶): メニューの終了またはレジューム再生をします。BD-ROM のディスクによっては、レジューム再生機能が動作しない場合もあります。

タイトル/ポップアップ: DVD のタイトルメニューや BD-ROM にポップアップメニューがある場合は表示します。

ディスクメニュー: ディスクのメニューを表示します。

・・・・・・ 4 ・・・・・・

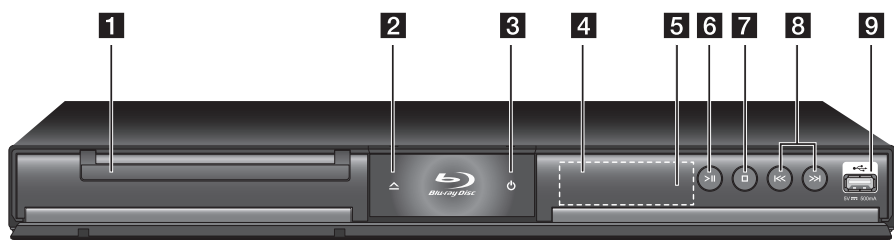
カラー (R, G, Y, B) ボタン: BD-ROM メニューの操作に使用します。
[ムービー]、[写真]、[音楽]、[NetCast］メニューの操作にも使用します。

マーカー: 再生中のお好きな場所にマークを付けます。

サーチ: 検索メニューを表示/終了します。

ズーム: [ズーム] メニューを表示/終了します。

テレビ コントロール ボタン: 59 ページ参照。

本体前面

右フロントカバーをあけた状態

1 ディスクトレイ

2 ⏏ (開/閉)

3 ⏻ (電源) ボタン

4 表示ディスプレイ

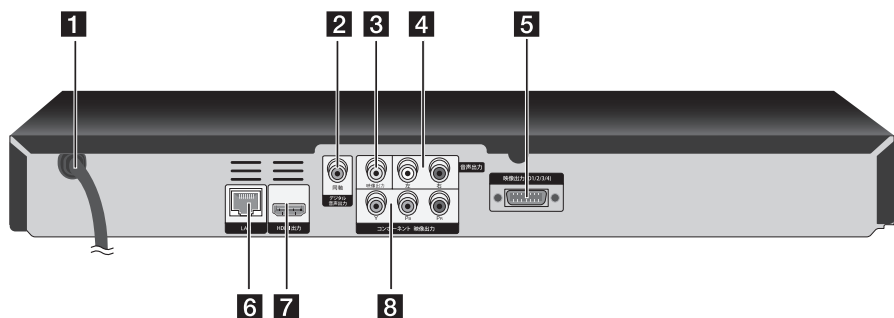
5 リモコン受信部

6 ►/II (再生/一時停止)

7 ■ (停止)

8 I◄◄/►►I (スキップ)

9 USB ポート

本体後面

1 AC 電源コード

2 デジタル音声出力 (同軸) 端子

3 映像出力端子

4 音声出力 (左/右) 端子

5 映像出力 (D1/2/3/4)

6 LAN ポート

7 HDMI 出力 (タイプ A、バージョン 1.3)

8 コンポーネント映像出力 (Y PB PR) 端子

3
インストール

テレビへ接続する

お持ちの機器の対応をご確認し、以下の接続方法から一つだけ行ってください。

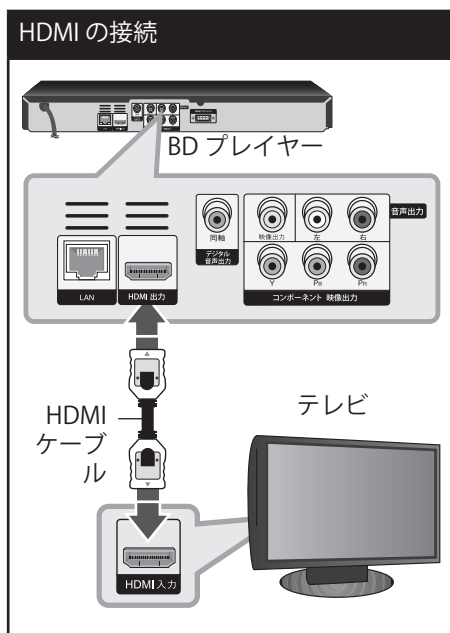
- HDMI の接続 (12～13 ページ)
- コンポーネント映像出力の接続 (14 ページ)
- D端子の接続 (14 ページ)
- 映像/オーディオ （左/右） の接続 (15 ページ)

注記

- 接続するテレビやその他周辺機器によって、本機への接続方法は数多くあります。この取扱説明書に記載する接続方法のうち、一つだけを選んで行ってください。
- 最良の接続を行うために、必要に応じてお持ちのテレビ、ステレオシステム、またはその他周辺機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機の 音声出力 端子を、お持ちのオーディオシステムの phono 端子（レコードプレイヤー用端子）に接続しないでください。
- お使いのビデオ経由で本機をテレビに接続しなでください。著作権保護の規定により画像が乱れる場合があります。

HDMI の接続

HDMI 入力端子のあるテレビやモニターをお持ちの場合は、HDMI ケーブル(タイプA、バージョン1.3) を使用して本機に接続することができます。本機の HDMI 端子を、HDMI 対応のテレビやモニターの HDMI 端子に接続します。

HDMI の接続

テレビの入力モードを HDMI に設定します（テレビの取扱説明書を参照してください）。

注記

- 接続した HDMI 機器が本機のオーディオ出力に対応していない場合、HDMI 機器のオーディオサウンドは乱れるか出力されません。
- HDMI 接続の場合、HDMI 出力の解像度を切り換えることができます。(15ページの「解像度の設定」を参照してください）。
- [設定] メニューの [HDMIカラー設定] 項目で、映像出力タイプを HDMI 出力 端子から選択します (24 ページ参照)。
- 接続がすでに確立されている状態で解像度の切り換えを行うと故障の原因になる場合があります。問題を解決するには、本機の電源を切り、再度電源を入れ直してください。
- HDCP での HDMI 接続に対応していない場合は、テレビ画面は黒画面に変わります。この場合は、HDMI 接続の確認をするか、HDMI ケーブルをはずしてください。
- 画面にノイズやラインなどの乱れがある場合は、HDMI ケーブルを確認してください（通常の長さは4.5 メートルに制限されています）。

HDMI における追加情報

- HDMI や DVI 対応の機器に接続する場合は、以下のことを確認してください。
  - まず本機と HDMI/DVI 機器の電源を切ります。次に、HDMI/DVI 機器の電源を入れ、30 秒ほど待ってから本機の電源を入れます。
  - 接続した機器の映像入力が、正しく本機に設定されているか確認します。
  - 接続する機器は、720x480p、1280x720p、1920x1080i、1920x1080p の解像度の映像入力に対応します。
- HDCP 対応の HDMI や DVI 機器のすべてが本機に対応しているわけではありません。
  - HDCP 対応機器以外では、画像が正しく表示されない場合があります。
  - テレビの画面は、本機の再生画面ではなく黒い画面に変わります。

SIMPLINK とは？

SIMPLINK が搭載されている本機と当社製のテレビとが HDMI ケーブルで接続されていると、テレビのリモコンで本機を操作できる機能があります。

当社製のテレビで操作できる機能は、再生、一時停止、巻戻し/早送り、スキップ、停止、電源オフ等です。

SIMPLINK 機能についての詳細は、テレビの取扱説明書を参照してください。

SIMPLINK 搭載の当社製のテレビ には、上に示すようなロゴが付いています。

注記

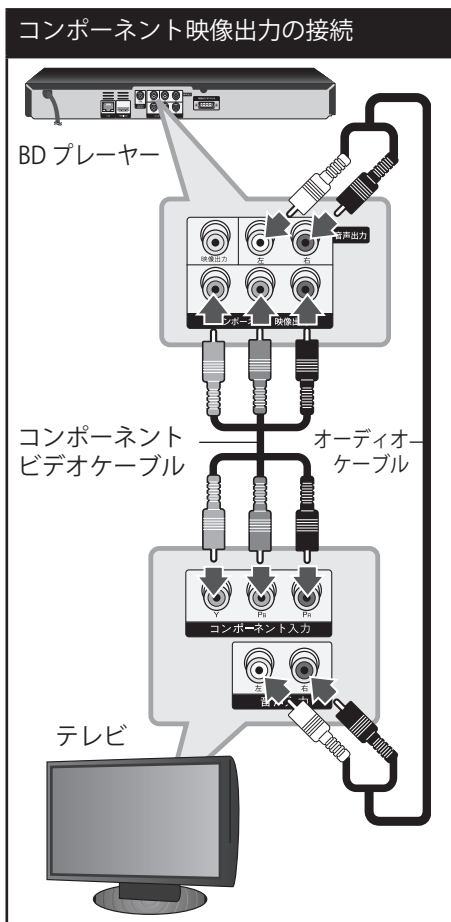
ディスクの種類や再生状態によっては、SIMPLINK の動作がお客様の意向と異なったり、動作しないこともあります。

3 インストール

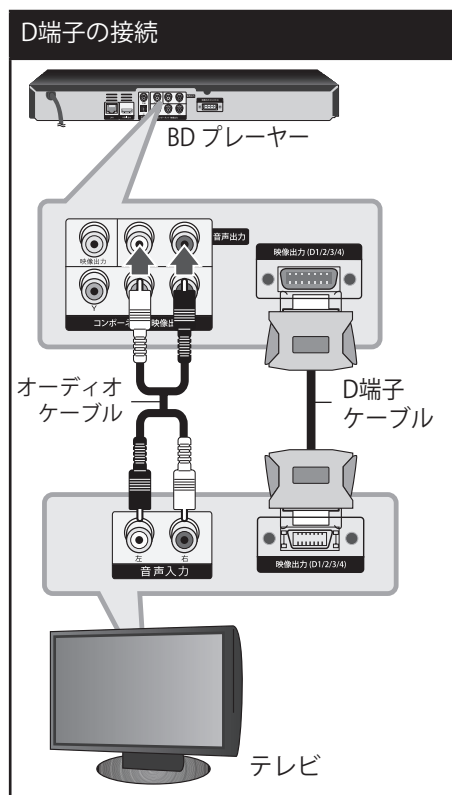
コンポーネント映像出力の接続

コンポーネントビデオ ケーブルを使用して、本機の コンポーネント映像出力 端子とテレビの対応する入力端子とを接続します。オーディオケーブルを使用して、本機の 音声出力 端子の左と右を、テレビの音声入力端子の左と右に接続します。

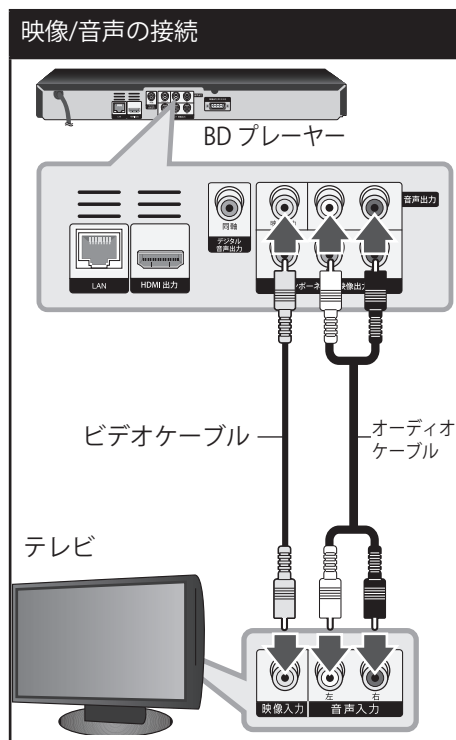
コンポーネント映像出力の接続

BD プレーヤー
音声出力
左
右
コンポーネント
ビデオケーブル
オーディオ
ケーブル
Y
PB
PR
コンポーネント入力
左
右
テレビ

> **注記**
>
> コンポーネント映像出力 端子を接続すると、映像の出力解像度を切り換えることができます。(15ページの「解像度の設定」を参照してください)。

D端子の接続

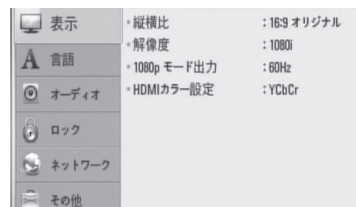
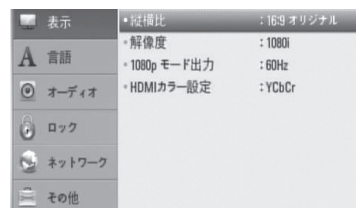
D端子ケーブルを使用して、本機の D端子出力とテレビの対応する入力端子とを接続します。
オーディオケーブルを使用して、本機の AUDIO出力 端子の左と右を、テレビの音声入力端子の左と右に接続します。

> **注記**
>
> D端子出力を接続すると、映像の出力解像度を切り換えることができます（15ページの「解像度の設定」を参照してください）。

映像/音声 （左/右） の接続

ビデオケーブルを使用して、本機の 映像出力 端子をテレビの映像入力端子に接続します。オーディオケーブルを使用して、本機の 音声出力 端子の左と右を、テレビの音声入力端子の左と右に接続します。

解像度の設定

本機では、HDMI 出力、D端子出力、コンポーネント映像出力 端子からの映像を、いくつかの解像度にて出力することができます。[設定] メニューを使用して解像度を変更することができます。

1. ホーム (⌂) を押します。

2. </> で［設定］を選択して 決定(◉) を押します。[設定］メニューが表示されます。

3. Λ/V で [表示] の項目を選択してから、> を押して第 2 階層へと移動します。

4. Λ/V で [解像度] の項目を選択してから、決定(◉) を押して第 3 階層へと移動します。

5. Λ/V で希望する解像度を選択してから、決定(◉) を押して設定を終了します。

注記

- お持ちのテレビが本機で設定した解像度に対応しない場合は、以下の方法で 480p 解像度に設定することができます。
  1. ⏏ を押してディスクトレイを開けます。
  2. 5 秒以上 ■ (停止) を押します。
- ビデオ出力の解像度では複数の要素が影響するため、詳しくは 68 ページの「ビデオ出力の解像度」を参照してください。

アンプとの接続

お持ちの機器の対応を確認し、以下の接続方法から一つだけ行ってください。

- HDMI オーディオの接続 (16 ページ)
- デジタル音声の接続 (17 ページ)
- 2CH アナログ音声の接続 (17 ページ)

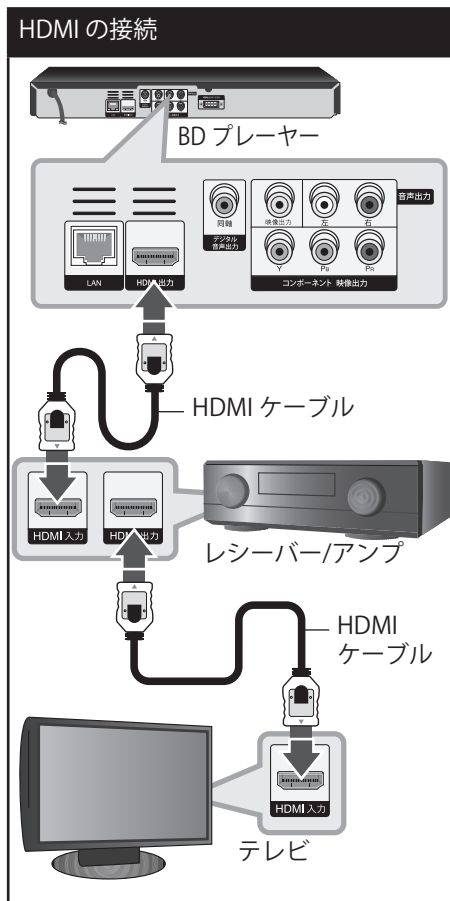
オーディオ出力のタイプには多くの要素が影響するため、詳しくは「オーディオ出力の仕様」を参照してください (66～67 ページ)。

デジタルマルチチャンネルサウンドについて

デジタルマルチチャンネルによる接続で、最高の音質でのサウンドをお楽しみいただけます。 そのためには、本機が対応するオーディオフォーマットのうちの一つ以上に対応しているマルチチャンネル オーディオ/ビデオレシーバーが必要です。 レシーバーの取扱説明書とレシーバー前面にあるロゴをご確認ください (PCM ステレオ、PCM マルチチャンネル、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、 DTS、 DTS-HD)。

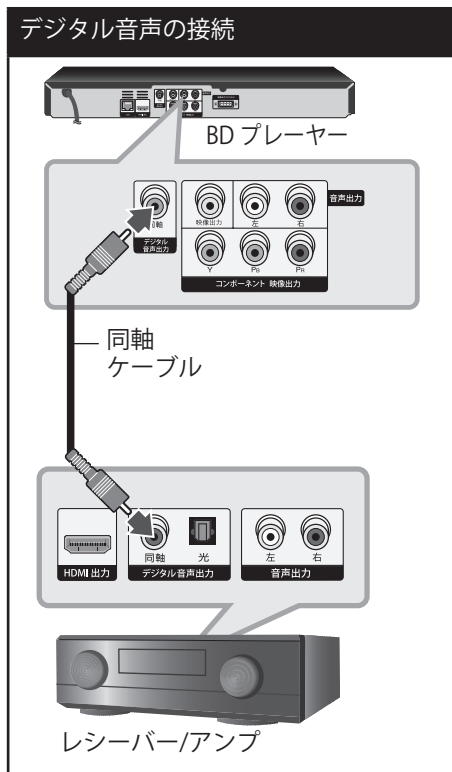
HDMI 出力とアンプとを接続する

HDMI ケーブルを使用して、本機の HDMI 出力 端子と、お持ちのアンプの対応する端子とを接続してください。また本機のデジタル音声出力の設定をする必要があります（25～26ページの「[オーディオ] メニュー」を参照してください）。

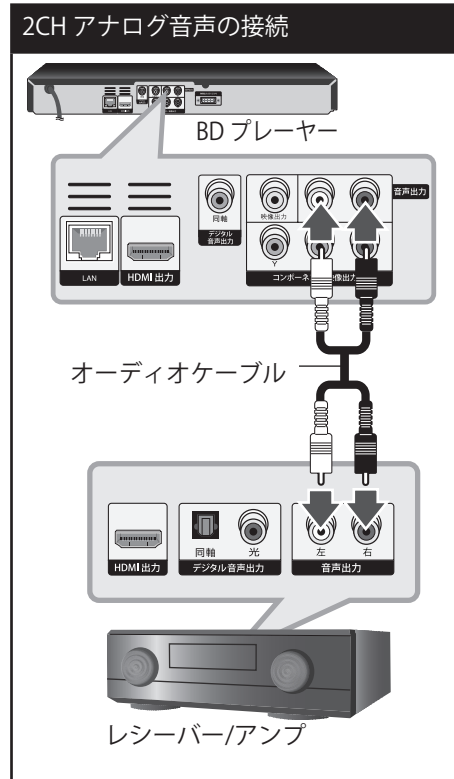
HDMI の接続

お持ちのアンプに HDMI 出力端子が搭載されている場合は、HDMI ケーブルを使用して、アンプの HDMI 出力端子をテレビの HDMI 入力端子に接続してください。

デジタル音声出力端子とアンプとを接続する

本機の デジタル音声出力 端子と、お持ちのアンプの対応する端子 （同軸）とを接続します。別売りのデジタルオーディオケーブルをお使いください。また本機のデジタル音声出力の設定をする必要があります。(25～26ページの「[オーディオ]メニュー」を参照してください）。

デジタル音声の接続

チャンネル音声出力端子とアンプとを接続する

オーディオケーブル使用して、本機の音声出力 端子の左と右を、お持ちのアンプ、レシーバー、またはステレオシステムのオーディオ端子の左と右に接続します。

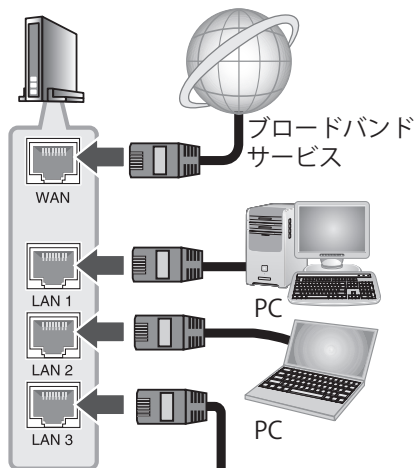
2CH アナログ音声の接続

ホームネットワークに接続する

本プレイヤーは，背面パネル上のLANポートを使ってローカルエリアネットワーク(LAN)に接続することができます。
本機をブロードバンド回線のホームネットワークに接続することで、ソフトウェアの更新、BD-LIVE のインタラクティブ機能、ストリーミングサービスのようなサービスを利用することができます。

有線ネットワークの接続

市販の LAN または　Ethernet ケーブル (RJ45 コネクタ付きのカテゴリ5 以上のケーブル) を使用して、本機の LAN ポートをお持ちのモデムかルーターのLAN ポートに接続してください。

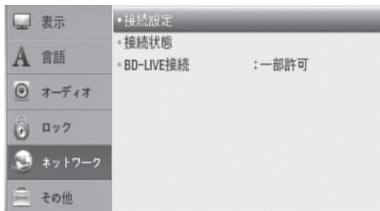
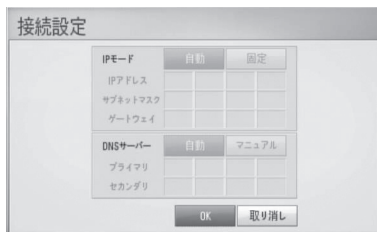
注記

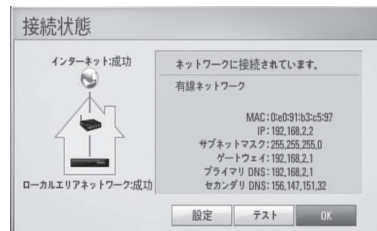
- LAN ケーブルの抜き差しは、プラグの部分を持って行ってください。LAN ケーブルを抜くときは、ケーブルを引かずにプラグのツメを下に押しながら抜きます。
- 電話用のモジュラーケーブルを LAN ポートに接続しないでください。
- 接続にはいろいろな方法がありますので、お客様がご利用になっている電話会社やインターネットサービスプロバイダの仕様に従ってください。

有線ネットワークの設定

DHCP サーバが有線接続のローカルエリアネットワーク（LAN）上にある場合は本機は自動的に IP アドレスに割り当てられます。実際に接続した後に、本機のネットワーク設定を調整する必要のあるホームネットワークもなかにはあります。以下のような手順で［ネットワーク］設定を調整してください。

準備

有線ネットワークを設定する前に、ブロードバンド回線のインターネットをホームネットワークに接続してください。

1. [設定] メニューから [接続設定] オプションを選択して、決定 (◉) を押してください。

2. Λ/V/</> で［自動］と［固定］どちらかの IP モードを選択します。
通常は、［自動］を選択して IP アドレスを自動的に設定します。

> **注記**
>
> ネットワークに DHCP サーバがなく、手動で IP アドレスを設定する場合は、Λ/V/</> ボタンと数字ボタンを使用して [固定] を選択してから、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]、[DNSサーバー] を設定します。数字を入力する際に入力を間違えた場合は、クリアを押してハイライトされた部分を解除してください。

3. [OK］を選択してから決定(◉) を押してネットワークを設定します。
4. 本機がネットワーク接続のテストを行うよう勧めます。[OK］を選択してから 決定(◉) を押してネットワークの接続を完了します。
5. 上記のステップ 4 で［テスト］を選択してから 決定 (◉) を押すと、ネットワークの接続状態が画面に表示されます。[設定］メニューの［接続状態］を選択することでもテストを行うことができます。

ネットワーク接続についての注意：

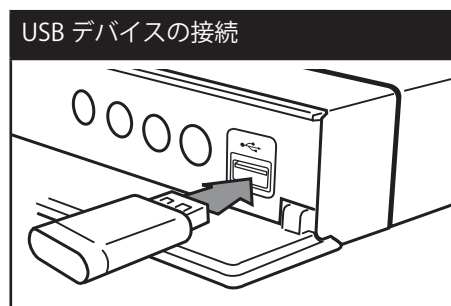
- 設定中に起こるネットワーク接続の問題は、多くの場合がルーターやモデムをリセットすることで解決できます。本機をホームネットワークに接続した後に、素早くホームネットワークのルーターまたはケーブルモデムの電源を切り、電源ケーブルを外してください。それから再度、電源ケーブルを差し、電源を入れ直してください。
- インターネットサービスプロバイダ（ISP） によっては、サービス条件が決められており、インターネットサービスに接続できる機器の数が限られている場合があります。詳細については、お使いの ISP にお問い合わせください。
- 弊社は、お客様がご利用されているブロードバンド回線での接続、またはその他接続機器から起こるコミュニケーションエラーや故障が原因での、本機やインターネット接続での機能不能、またはその両方についての一切の責任を負いません。
- 弊社では、インターネット接続機能からご利用できる BD-ROM ディスク機能の作成や提供は行っておりません。また、それらの機能や将来の利用性などについての責任も負いません。インターネット接続でご利用可能なディスク関連のマテリアルの中には、本機と互換性のないものもあります。このようなコンテンツについてのご質問は、ディスクの製造メーカーにお問い合わせください。
- インターネットのコンテンツには、広帯域幅の接続が必要なものもあります。
- 正しく接続と設定がされていても、インターネットのコンテンツの中には、ご利用のインターネットサービスの回線の渋滞、質、帯域幅など、コンテンツのプロバイダー側の問題などが理由で正常に作動しない場合があります。
- ご利用のブロードバンド回線の接続を提供しているインターネットサービスプロバイダ （ISP） で設定された制限により、インターネット接続の操作が正しくできない場合もあります。
- 接続料やその他 ISP より請求される手数料は、すべてお客様のご負担となります。
- 10BASE-T または100BASE-TX での LAN ポートの無線接続が本機には必要です。ご利用のインターネットサービスがこのような接続に対応していない場合は、本機との接続はできません。
- xDSL サービスをご利用になるには、ルーターが必要です。
- DSL サービスをご利用になるには DSL モデムが必要です。またケーブルモデムサービスをご利用になるにはケーブルモデムが必要です。ご利用の ISP のアクセス方法と契約内容によっては、本機に搭載されているインターネット接続の機能をご利用できなかったり、同時に接続できる機器の数が制限されている可能性もあります。(ご利用の ISP の契約が 1 台のみの接続に制限されている場合は、パソコンの接続中に本機を接続できない可能性があります）。
- ご利用の ISP の規制や制限によっては「ルーター」を使用できない、またはルーターの使用が制限されている可能性があります。詳細については、ご利用の ISP に直接お問い合わせください。

USB デバイスの接続

本機では、USB デバイスに記録された映画、音楽、および写真ファイルを再生できます。

USB デバイスの再生コンテンツ

1. USB デバイスを USB ポートにしっかり奥まで差し込みます。

USB デバイスの接続

USB デバイスを ホーム メニューから接続設定すると、本機は USB ストレージデバイスに記録された音楽ファイルを自動的に再生します。USB ストレージデバイスにいろいろな種類のファイルが記録されている場合は、ファイルの種類を選択するメニューが表示されます。

USB ストレージデバイスに保存されたコンテンツの数によっては、ファイルを読み込みに数分かかることがあります。読み込みを停止するには、［取り消し］を選択し、決定 (◉) を押してください。

2. ホーム (⌂) を押します。

3. </> で [ムービー]、 [写真]、または [音楽] 項目を選択してから、決定 (◉) を押します。

4. </> で [USB] 項目を選択してから、決定 (◉) を押します。

5. ∧/∨/</> でファイルを選択してから、再生または決定 (◉) を押してファイルを再生します。

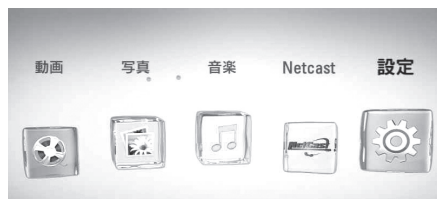
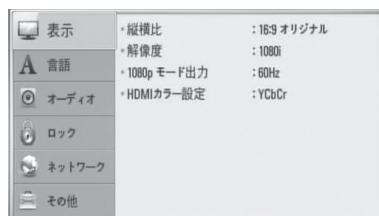
6. 注意しながら、USB デバイスを取り外します。

> **注記**
>
> - 音楽、写真、および映画ファイルにアクセスする場合、本機は FAT16、FAT32、および NTFS 形式のUSB フラッシュメモリーまたは外付けハードディスクに対応します。BD-LIVE やオーディオ CD の記録を行う場合は、FAT16 と FAT32 形式のみに対応します。 BD-LIVE やオーディオ CD の記録を行う場合は、FAT16 または FAT32 どちらかの形式にフォーマットされた USB フラッシュメモリーまたは外付けのハードディスクを使用してください。
> - USB デバイスは、インターネットで BD-LIVE のディスクを楽しむためのローカル記憶領域に使用することができます。
> - 本機で対応できる USB デバイスのパーティションの数は、最大 4 つまでです。
> - 再生などの操作中は USB デバイスを取り外さないでください。
> - パソコンに接続すると追加プログラムのインストールが必要となる USB デバイスには対応していません。
> - USB デバイス :USB1.1 および USB2.0 のものに対応しています。
> - 映画、音楽、および写真ファイルを再生できます。 各ファイルの操作についての詳細は、それぞれの関連ページを参照してください。
> - データの損失を避けるために、定期的なバックアップをお勧めします。
> - USB 延長ケーブル、USB ハブ、または USB Multi-reader を使用すると、USB デバイスが認識されない可能性があります。
> - 本機では動作しない USB デバイスもあります。
> - デジタルカメラや携帯電話はサポートされていません。
> - 本機の USB ポートとパソコンは接続できません。本機をストレージデバイスとして使用することはできません。

設定

セットアップの設定

[設定］メニューで本機の設定を変更することができます。

1. ホーム (⌂) を押します。

2. </> で［設定］を選択して 決定(◎)を押します。[設定］メニューが表示されます。

3. Λ/V で 最初の設定項目を選択してから、> を押して第 2 階層へと移動します。

4. ∧/∨ で 2 番目の設定項目を選択してから、決定(◉) を押して第 3 階層へと移動します。

5. ∧/∨ で希望する設定を選択してから、決定 (◉) を押して設定を終了します。

[表示] メニュー

縦横比

お持ちのテレビのタイプに対応する、テレビの縦横比項目を選択してください。

[4:3レターボックス]
4:3 のアスペクト比である従来サイズのテレビが接続されている場合に選択します。 ワイドスクリーンの画像では、上下に黒帯が付いた状態で映像を表示します。

[4:3パンスキャン]
4:3 のアスペクト比である従来サイズのテレビが接続されている場合に選択します。 ワイドスクリーンの画像では、テレビ画面に映像が収まるようにカットされて表示されます。 映像の両側が切り落とされます。

[縦横比(16:9)]
16:9 のアスペクト比であるワイドテレビが接続されている場合に選択します。4:3 の映像では左右の両側に黒帯が付いた状態で、オリジナルの 4:3 アスペクト比で表示されます。

[16:9 フル]
16:9 のアスペクト比であるワイドテレビが接続されている場合に選択します。4:3 の映像が、テレビ画面の全体に合わせるために水平方向 （左右） に引き伸ばされます。

注記

解像度が 720p 以上に設定されている場合は、［4:3レターボックス］ と ［4:3パンスキャン］ の項目は選択できません。

解像度

D端子、コンポーネントHDMI の映像信号の出力解像度を設定します。解像度設定についての詳細は、15 ページと 68 ページを参照してください。

[自動]
HDMI 出力端子が、ディスプレイの基本情報を提供するテレビ（EDID） に接続されていると、接続されているテレビに最適な解像度を自動的に選択します。 コンポーネント映像出力端子や D 端子出力に接続すると、解像度は初期設定である 1080i の解像度に自動的に変換されます。

[1080p]
1080 本のプログレッシブ （順次走査） 映像出力です。

[1080i]
1080 本のインターレース （飛び越し走査） 映像出力です。

[720p]
720 本のプログレッシブ （順次走査） 映像出力です。

[480p]
480 本のプログレッシブ （順次走査） 映像出力です。

[480i]
480 本のインターレース （飛び越し走査） 映像出力です。

1080pモード出力

解像度を 1080p に設定した場合、1080p/24 Hz 入力に対応した HDMI 端子のあるディスプレイで映画のフィルム映像 （1080p/24 Hz） をスムーズに表示するには、[24 Hz] を選択します。

注記

- [24 Hz] を選択した場合、ビデオと映画で映像を切り換えると、画像が乱れる場合があります。その場合は [60 Hz] を選択してください。
- [1080pモード出力] が [24 Hz] に設定されていても、お持ちのテレビが 1080p/24Hz に対応していない場合は、ビデオ出力の実際のフレーム周波数は、ビデオのソースフォーマットに合うように 60Hz に変更されます。

HDMIカラー設定

HDMI 出力 端子からの出力の種類を選択してください。この設定については、お持ちのディスプレイ機器の取扱説明書を参照してください。

[YCbCr]
HDMI 対応のディスプレイ機器への接続時に選択します。

[RGB]
DVI ディスプレイ機器への接続時に選択します。

[言語] メニュー

表示メニュー言語

[設定] メニューとオンスクリーン ディスプレイの言語を選択します。

ディスクメニュー言語/ディスク音声言語/ディスク字幕言語

オーディオ トラック（ディスク オーディオ）、字幕、そしてディスク メニューで表示したい言語を選択します。

[オリジナル]
ディスクが収録された時に使用された言語を参照します。

[その他]
決定 (◉) を押して別の言語を選択します。 63 ページに記載された言語コードから表示したい言語の 4 桁数字を数字ボタンを使って入力し、 決定 (◉) を押してください。

[オフ]（ディスク サブタイトルのみ）
字幕を消します。

注記

ディスクによっては、言語設定が動作しない場合があります。

[オーディオ] メニュー

各ディスクで、いろいろなオーディオ出力の選択ができます。お持ちのオーディオシステムの種類に応じて、本機のオーディオ項目を設定してください。

注記

オーディオ出力のタイプには多くの要素が影響するため、詳しくは 66～67 ページの「オーディオ出力の仕様」を参照してください。

HDMI / デジタル出力

HDMI または デジタル音声入力 端子のある機器が、本機の HDMI 出力 端子か デジタル音声出力 端子に接続されている場合は、オーディオ出力の形式を選択する必要があります。

[PCM ステレオ]
本機の HDMI 出力 端子または デジタル音声出力 端子を、2 チャンネル ステレオのデジタルデコーダ機器に接続する場合に選択します。

[PCM Multi-Ch] (HDMI 接続のみ)
本機の HDMI 出力 端子をマルチチャンネルのデジタルデコーダ機器に接続する場合に選択します。

[DTS再エンコード]
本機の HDMI 出力 端子または デジタル音声出力 端子を、DTS デコーダ搭載機器に接続する場合に選択します。

[プライマリパススルー]
本機の デジタル音声出力 端子または HDMI 出力 端子を、リニアPCM、ドルビーデジタル、 ドルビーデジタル プラス、ドルビー TrueHD、 DTS、DTS-HD デコーダ搭載機器に接続する場合に接続します。

注記

- [HDMI] 項目が [PCM Multi-Ch] に設定されているとき、EDID 搭載の HDMI 機器から PCM マルチチャンネル情報が検知できない場合は、オーディオは PCM ステレオとして出力されます。
- [HDMI] または [デジタル] 項目が [DTS再エンコード] に設定されていると、DTS 再エンコード オーディオはサブトラック音声で BD-ROM ディスクから出力され、元のオーディオはその他のディスク（[プライマリパススルー] など）に出力されます。

サンプリング周波数（デジタル音声出力）

[192 kHz]
お持ちの AV レシーバーまたはアンプが 192 kHz 周波数に対応可能な場合に選択します。

[96 kHz]
お持ちの AV レシーバーまたはアンプが 192 kHz 周波数に対応しない場合に選択します。 この周波数を選択するとお持ちのシステムがデコードできるように、すべての 192 kHz 周波数を 96 kHz に自動変換します。

[48 kHz]
お持ちの AV レシーバーまたはアンプが 192 kHz、96 kHz の周波数に対応しない場合に選択します。 この周波数を選択すると、お持ちのシステムがデコードできるように、すべての 192 kHz、96 kHz の周波数を 48 kHz に自動変換します。

お持ちの AV レシーバーまたはアンプの取扱説明書をご覧になり、対応可能な仕様をご確認ください。

DRC (ダイナミックレンジコントロール)

ドルビーデジタルかドルビーデジタル プラスでエンコードされたコンテンツを再生中に、オーディオ出力のダイナミックレンジ（最大の音と最小の音との差）を圧縮することができます。圧縮することで、小音量でも映画などの音をはっきりと聞き取ることができます。この音響効果を楽しむには、［DRC］を [オン] に設定します。

注記

DRC の設定は、ディスクが挿入されていない時、または本機が完全に停止モードの時にのみ変更することができます。

[ロック] メニュー

[ロック] 設定は、BD と DVD の再生時のみ利用できます。

[ロック] 設定の機能を変更するには、お客様があらかじめ設定した 4桁の暗証番号を入力します。.パスワードを入力していない場合は、最初に設定します。4 桁のパスワードを 2 回入力してから　決定 (◉) を押して新しいパスワードを作成します。

パスワード

パスワードは、作成または変更できます。

[なし]
4 桁のパスワードを 2 回入力してから決定 (◉) を押して新しいパスワードを作成します。

[変更]
設定されているパスワードを入力して決定 (◉) を押します。 4 桁のパスワードを 2 回入力してから　決定 (◉) を押して新しいパスワードを作成します。

パスワードを忘れてしまった場合

ご自分のパスワードを忘れた場合は、次のステップでパスワードを解除することができます。

1. 本機にディスクが入っている場合は取り出します。
2. [設定] メニューから [パスワード] の項目を選択します。
3. 数字ボタンで「210499」と入力します。パスワードが解除されます。

注記

決定 (◉) を押す前に入力を間違った場合は、クリア を押してください。その後、正しいパスワードを入力します。

DVD視聴制限レベル

ディスクのコンテンツにより年齢制限が設定されている DVD の再生をブロックします。(すべてのディスクに制限が付けられているわけではありません）。

[ランク 1-8]
レーティング 1 は最も制限が厳しく、レーティング8 は最も制限が軽くなります。

[ロック解除]
[ロック解除］を選択すると、視聴制限は動作せず、すべてのディスクが再生されます。

BD視聴制限レベル

BD-ROM 再生の年齢制限を設定します。数字ボタンで BD-ROM を鑑賞できる年齢制限を入力します。

[255]
すべての BD-ROM を再生できます。

[0-254]
BD-ROM に記録された年齢制限によって BD-ROM の再生を禁止します。

注記

[BD視聴制限レベル] は、Advanced Rating Control が設定されている BD ディスクのみに利用できます。

エリアコード

62 ページのリストを基に、DVD ビデオディスクの年齢制限を指定する基準の地域コードを入力してください。

[ネットワーク] メニュー

[ネットワーク] の設定は、ソフトウェアの更新や、BD LIVE、NetCast といった機能を利用するのに必要な設定です。

接続設定

ホームネットワーク環境が本プレイヤーにすぐに接続できる場合には、ネットワーク通信ができるようにプレイヤーのネットワーク接続を設定する必要があります。(18〜20 ページの「ホームネットワークに接続する」を参照）。

接続状態

本機でネットワーク状態を確認する場合は、［接続状態］ 項目を選択してから決定 (◎) を押し、ネットワークとインターネットの接続が確立されているかどうか確認してください。

BD-LIVE接続

BD-LIVE 機能を使用する場合は、インターネットへのアクセスを制限することができます。

[許可]
すべての BD-LIVE コンテンツへのインターネットアクセスを許可します。

[一部許可]
所有者証明書のある BD-LIVE コンテンツのみインターネットアクセスを許可します。 証明書のないすべての BD-LIVE コンテンツへのインターネットアクセスと AACS オンライン機能は禁止されます。

[禁止]
すべての BD-LIVE コンテンツへのインターネットアクセスを禁止します。

[その他] メニュー

DivX VOD

DIVX ビデオについて :DivX® は DivX, Inc. のデジタルビデオ圧縮技術です。本機は DivX ビデオ再生用の DivX Certified 製品です。詳しい情報、およびファイルを DivX 形式のビデオにを変換するソフトウェアツールについては、www.divx.com をご覧ください。

DIVX ビデオ オン ディマンドについて : DivX VOD ファイルを再生するためには、DivX® Certified 製品である本機を登録する必要があります。
登録コードを生成するには、本機の設定メニューから DivX VOD の項目を選択してください。vod.divx.com へアクセスして、このコードで登録の手続きを完了させ、DivX VOD についての詳細を確認してください。

[登録]
本機の登録コードを表示します。

[登録削除]
本機の使用をやめるときに、コードを無効にします。

 注記

本機の登録コードを使用して DivX VOD からダウンロードしたすべてのビデオは、本機で再生のみを行うことができます。

オートパワーオフ

スクリーンセーバーは、停止モードで約 5 分間経過すると表示されます。 この項目を ［オン］ に設定すると、スクリーンセーバーが表示されて 25 分経過後に自動的に本機の電源が切れます。
この項目を ［オフ］ に設定すると、ユーザーが本機の操作を始めるまでスクリーンセーバーが表示され続けます。

初期化

[初期設定]
本機を工場出荷時の設定にリセットすることができます。

[BDストレージ選択]
接続されている USB ストレージからの BD コンテンツを初期化します。

 注記

［初期設定］項目で本機を工場出荷時の設定にリセットする場合は、再度ネットワークの設定を行う必要があります。

ソフトウェア

[情報]
ソフトウェアの現在のバージョンを表示します。

[更新]
本機をソフトウェア更新サーバに直接接続することで、ソフトウェアの更新ができます (60～61 ページ参照)。

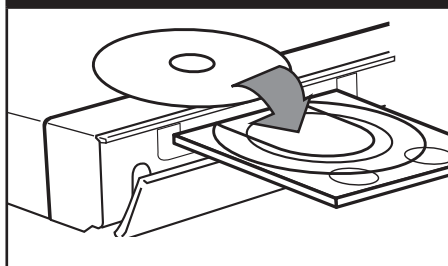
免責事項の警告

決定 (◉) を押して、70 ページに記載している ネットワークサービスの免責事項 についてご覧ください。

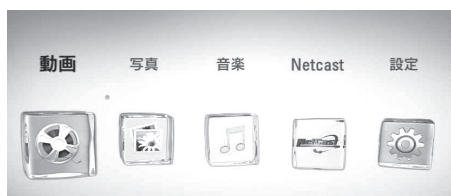
4
操作

一般的な再生

ディスクを再生する

1. **⏏**（開/閉）を押して、ディスクをディスクトレイに置きます。

2. **⏏**（開/閉）を押してディスクトレイを閉めます。

   ほとんどのオーディオ CD、BD-ROM、および DVD-ROM ディスクの再生を自動的に開始します。

3. ホーム (⌂) を押します。

4. </> ボタンで [ムービー]、[写真]、または [音楽] 項目を選択してから、決定 (◉) を押します。

5. </> で [ディスク] 項目を選択してから決定 (◉) を押します。

   ディスクと USB ディバイスが同時に本機に接続されている場合にのみ、このステップを行ってください。

6. Λ/V/</> でファイルを選択してから、▶（再生）または決定 (◉) を押してファイルを再生します。

> **注記**
>
> - この取扱説明書で説明されている再生機能は、必ずしも全てのファイルやメディアで利用できるわけではありません。多くの要素によって制限される機能もあります。
> - BD-ROMタイトルによって、正常に再生するためにUSBデバイス接続が必要になる場合があります。

再生を停止するには

再生中に ■（停止） を押します。

再生を一時停止するには

再生中に ▮▮（一時停止） を押します。
▶（再生） を押すと、レジューム再生を開始します。

コマ送りをするには

映画の再生中に ▮▮（一時停止） を押します。
▮▮ (一時停止) を繰り返し押して 1 フレームずつコマ送りします。

早送り/早戻しをするには

再生中に ◀◀ または ▶▶ を押すと、早送り/早戻し再生になります。
◀◀ または ▶▶ を繰り返し押すと、早送り/早戻し再生のスピードを変えることができます。

スローモーションで再生するには

再生の一時停止中に、 ▶▶ を繰り返し押してスローモーションのスピードを変えて再生します。

次や前のチャプター/トラック/ファイルにスキップするには

再生中に |◀◀ または ▶▶| を押すと、次のチャプター/トラック/ファイルに移動したり、再生中のチャプター/トラック/ファイルの先頭に戻ることができます。
|◀◀ を素早く二度押すと、前のチャプター/トラック/ファイルに戻ります。

ディスクメニューを使う

BD DVD AVCHD

ディスクメニューを表示するには

メニューのあるディスクを挿入すると、メニュー画面は最初に表示されます。 再生中にディスクメニューを表示したい場合は、ディスクメニュー ボタンを押してください。

Λ/V/</> ボタンでメニュー項目の操作を行います。

ポップアップメニューを表示するには

BD-ROM ディスクのなかには再生中に表示されるポップアップメニューが収録されているものがあります。

再生中に タイトル/ポップアップ ボタンを押してから、Λ/V/</> ボタンでメニュー項目の操作を行います。

レジューム再生

BD **DVD** **AVCHD** **MOVIE** **ACD** **MUSIC**

ディスクによって、本機は ■（停止）ボタンを押した位置を記録します。
「❚❚■（レジューム停止）」が画面にすぐに表示されたら、▶（再生）を押して停止したシーンから再生を開始することができます。
■（停止）を 2 度押したり、ディスクを取り出したりすると、「■（完全な停止）」が画面に表示されます。 本機が記憶した停止位置を解除します。

注記

- レジュームした位置は、⏻（電源）、⏏（開/閉） などのボタンを押すと解除される場合があります。
- BD-J を使った BD ビデオ ディスクでは、レジューム再生機能は動作しません。
- BD-ROM のインタラクティブ タイトルの再生中に ■（停止） を一度押すと、本機は完全な停止モードになります。

高度な再生

リピート再生

BD **DVD** **AVCHD** **ACD** **MUSIC**

再生中に リピート を繰り返し押して、希望するリピートモードを選択します。

BDs/DVDs

A- – 指定した区間が繰り返しリピート再生されます。

チャプター – 現在再生中のチャプターが繰り返し再生されます。

タイトル – 現在再生中のタイトルが繰り返し再生されます。

通常の再生に戻るには、リピート を繰り返し押して [オフ] を選択します。

オーディオ CD/音楽ファイル

Track – 現在再生中のトラックが繰り返し再生されます。

All – すべてのトラックやファイルが繰り返し再生されます。

– トラックやファイルがランダムに再生されます。

All – すべてのトラックやファイルがランダムに繰り返し再生されます。

A-B – 指定した区間が繰り返しリピート再生されます。(オーディオ CD のみ)

通常の再生に戻るには、クリア を押してください。

4 操作

注記

- チャプター/トラックの再生中に ▶▶I を押すと、リピート再生は取り消されます。
- この機能が動作しないディスクやタイトルがあります。

区間指定のリピート

BD DVD AVCHD ACD

本機は指定した区間をリピート再生することができます。

1. 再生中に リピート を押して、リピート再生したい区間の開始地点で［A-］を選択します。
2. 区間の終了地点で 決定 (◉) を押します 。 指定した区間が繰り返しリピート再生されます。
3. 通常の再生に戻るには、リピート を繰り返し押して [オフ] を選択します。

注記

- 3 秒内の短い区間は指定できません。
- この機能が動作しないディスクやタイトルがあります。

画面の拡大再生

BD DVD AVCHD MOVIE PHOTO

1. 再生または一時停止モード中に、ズーム を押して [ズーム] メニューを表示します。
2. 赤 (R) または緑色 (G) のボタンで画像のズームアウトやズームインをします。 Λ/V/</> ボタンでズームした画像内を移動することができます。
3. 通常の画像サイズに戻るには、黄色 (Y) のボタンを押します。
4. 戻る (↶) を押して [ズーム] メニューを終了します。

マーカーサーチ

BD DVD AVCHD MOVIE

マーカーを入力することで、記憶した最大 9 箇所の位置から再生を開始することができます。

マーカーを入力するには

1. 再生中に、希望する地点で マーカー を押します。 マーカーのアイコンがテレビ画面にすぐに表示されます。
2. ステップ 1 を繰り返すことで、9 箇所までマーカーを登録することができます。

マーカーした場面へ頭出しするには

1. サーチ を押すと、画面にサーチメニューが表示されます。
2. 数字ボタンを押して、頭出しをしたいマーカーの番号を選択します。 登録した場面から再生を開始します。

マーカーを削除する

1. サーチを押すと、画面にサーチメニューーが表示されます。

2. V を押してマーカー番号をハイライトします。 </> で削除したい登録場面を選択します。

3. クリア を押すと、登録した場面はサーチメニューから削除されます。

注記

- この機能が動作しないディスクやタイトルがあります。
- タイトルが完全な停止 (■) モードの場合、タイトルが変更されている場合、ディスクを取り出した場合などは、登録した位置はすべて解除されます。
- タイトルの長さが全体で 10 秒にならない場合は、この機能は動作しません。

サーチメニューを使う

BD **DVD** **AVCHD** **MOVIE**

サーチメニューを使用することで、再生を開始したい位置を簡単に見つけることができます。

位置をサーチするには

1. 再生中に サーチ を押すと、サーチメニューが表示されます。

2. </> を押すと、15 秒間ジャンプして早送りや早戻し再生ができます。
</> ボタンを押し続けると、ジャンプしたい位置を選択できます。

登録した場面から再生を開始する

1. サーチを押すと、画面にサーチメニューーが表示されます。

2. V を押してマーカー番号をハイライトします。
</> で再生を開始したい登録場面を選択します。

3. 決定 (◉) を押して、登録した場面から再生を開始します。

注記

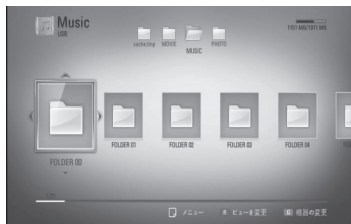
この機能が動作しないディスクやタイトルがあります。

コンテンツリストの表示を変更する

MOVIE **MUSIC** **PHOTO**

［ムービー］、［音楽］または［写真］メニューで、コンテンツリストの表示を変更することができます。

方法 1

赤色 (R) ボタンを繰り返し押します。

方法 2

1. コンテンツリスト画面で、かんたんメニュー (□) を押してオプションメニューを表示します。
2. ∧/∨ で［ビューを変更］項目を選択します。
3. 決定 (⊙) を押してコンテンツリストの表示を変更します。

コンテンツ情報を見る

MOVIE

本機でコンテンツ情報を表示することができます。

1. ∧/∨/</>でファイルを選択します。
2. かんたんメニュー (□) を押してオプションメニューを表示します。
3. ∧/∨ ボタンで [情報] 項目を選択してから、決定 (⊙) を押します。

   ファイルの情報が画面に表示されます。

映画の再生中に、タイトル/ポップアップを押してファイルの情報を表示することができます。

> **注記**
>
> 画面に表示される情報は、実際のコンテンツ内容と異なる場合があります。

ラストシーンメモリー

BD **DVD**

本機は、最後に再生したディスクの最後に再生を止めたシーンをメモリーに記憶します。 最後に再生を止めたシーンは、本機からディスクを取り出しても、本機の電源を切っても、メモリーに記憶されます。 次回にシーンが記憶されたディスクを挿入すると、自動的にその位置から再生を開始します。

> **注記**
>
> - 別のディスクを再生すると、前回再生したディスクのラストシーンメモリー 機能は消去されます。
> - ディスクによって、この機能が動作しない場合があります。
> - BD-Jを使用したBD-Videoディスクでは、ラストシーンメモリー機能が作動しません。
> - メモリーされたシーンの再生を開始する前に本機の電源を切ると、ディスクの設定は記憶されません。

オンスクリーンディスプレイ (OSD)

コンテンツのあらゆる情報や設定を表示したり調整したりすることができます。

コンテンツ情報を画面に表示する

BD DVD AVCHD MOVIE

1. 再生中に かんたんメニュー (□) を押して、いろいろな再生情報を表示します。

---

1 **タイトル** – 現在再生中のタイトル番号/総タイトル数

2 **チャプター** – 現在再生中のチャプター番号/総チャプター数

3 **時刻** – 再生経過時間/総再生時間

4 **オーディオ** – 選択されている音声言語やチャンネル

5 **字幕言語** – 選択されている字幕言語

6 **アングル** – 選択されているアングル数/総アングル数

7 **縦横比** – 選択されているテレビの画面比率

8 **ピクチャーモード** – 選択されている画像モード

9 **映画情報** – この項目を選択して 決定 (◎) を押し、Gracenote Media Database に保管されている映画の情報を表示します (BD/DVD のみ)

---

2. ∧/∨ で項目を選択します。

3. </> で選択されている項目の値を調整します。

4. 戻る (↩) を押して かんたんメニューを終了します。

注記

- ボタンを 2、3 秒内に押して操作しないと、かんたんメニューは消えます。
- タイトル番号を選択できないディスクがあります。
- 選択できる項目はディスクやタイトルによって異なる場合があります。
- BD インタラクティブ タイトルの再生中でも画面に表示できる設定情報はありますが、変更はできません。
- [映画情報］の項目を利用するには、Gracenote Media Database にアクセスするために本機をブロードバンド回線のインターネットに接続する必要があります。
- Gracenote Media Database から配信される情報が間違っている場合や存在しない場合は、ウェブサイトの www.gracenote.com よりお問い合わせください。
- 当社は Gracenote 技術供与を受けていますが、Gracenote Media Database からの情報やその信頼性に関しては一切の責任を負いません。

時間サーチ再生

BD　DVD　AVCHD　MOVIE

1. 再生中に かんたんメニュー (□) を押します。
   経過した再生時間が時刻サーチボックスに表示されます。

2. [時刻] 項目を選択し、開始時間を左から右に、時間、分、秒と順に入力します。

   例えば、2 時間 10 分 20 秒のシーンにサーチする場合は、「21020」と入力します。

   </> を押すと、60 秒間ジャンプして早送りや早戻し再生ができます。

3. 決定 (◉) を押して、選択した時刻から再生を開始します。

> **注記**
>
> この機能が動作しないディスクやタイトルがあります。

別のオーディオを聞く

BD　DVD　AVCHD　MOVIE

1. 再生中に かんたんメニュー (□) を押して、OSD 画面を表示します。

2. Λ/V で［オーディオ］項目を選択します。

3. </> で希望する音声言語、オーディオトラック、またはオーディオチャンネルを選択します。

> **注記**
>
> - ディスクによっては、オーディオの選択がディスクメニューからしかできないものがあります。 この場合は、タイトル/ポップアップ または ディスクメニュー ボタンを押して、ディスクメニューから適切な音声を選んでください。
> - サウンドを切り換えた直後に、表示サウンドと実際のサウンドとの間に一時的なずれが生じる場合があります。
> - BD-ROM ディスクでは、マルチチャンネルオーディオ フォーマット （5.1CH または 7.1CH） は、[マルチ CH] と OSD 画面に表示されます。

字幕言語を選択する

BD　DVD　AVCHD　MOVIE

1. 再生中に かんたんメニュー (□) を押して、OSD 画面を表示します。

2. Λ/V で［サブタイトル］項目を選択します。

3. </> で希望する字幕言語を選択します。

4. 戻る (↶) を押して かんたんメニューを終了します。

> **注記**
>
> ディスクによっては、字幕変更の選択がディスクメニューからしかできないものがあります。この場合は、タイトル/ ポップアップ またはディスクメニュー ボタンを押して、ディスクメニューから適切な字幕を選んでください。

4　操作

別のアングルから見る

BD **DVD**

違うカメラアングルで録画されたシーンがディスクに含まれている場合は、再生中に別のカメラアングルに切り換えることができます。

1. 再生中に かんたんメニュー (▢) を押して、OSD 画面を表示します。
2. ^/V で［アングル］項目を選択します。
3. </> で希望するアングルを選択します。
4. 戻る (↺) を押して かんたんメニューを終了します。

テレビの縦横比を変更する

BD **DVD** **AVCHD** **MOVIE**

再生中にテレビの画面比率設定を変更することができます。

1. 再生中に かんたんメニュー (▢) を押して、OSD 画面を表示します。
2. ^/V で［縦横比］項目を選択します。
3. </> で希望する項目を選択します。
4. 戻る (↺) を押して かんたんメニューを終了します。

> **注記**
>
> OSD かんたんメニューで［縦横比］の値を変更しても、［設定］メニューの［縦横比］項目の値は変わりません。

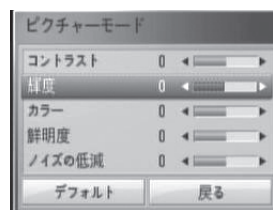
画像モードを変更する

BD **DVD** **AVCHD** **MOVIE**

再生中に［ピクチャーモード］項目を変更することができます。

1. 再生中に かんたんメニュー (▢) を押して、OSD 画面を表示します。
2. ^/V で［ピクチャーモード］項目を選択します。
3. </> で希望する項目を選択します。
4. 戻る (↺) を押して かんたんメニューを終了します。

［ユーザー設定］項目を設定する

1. 再生中に かんたんメニュー (▢) を押して、OSD 画面を表示します。
2. ^/V で［ピクチャーモード］項目を選択します。
3. </> で［ユーザー設定］を選び、決定 (◉) を押します。

4. ^/V/</> で［ピクチャーモード］の項目を調整します。

   ［デフォルト］項目を選択してから 決定 (◉) を押し、すべての画像調整をリセットします。

5. ^/V/</> で［戻る］項目を選び、決定(◉) を押して設定を終了します。

BD-LIVE を楽しむ

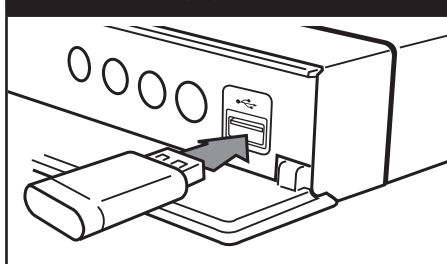
本機では、BONUSVIEW 機能 （BD-ROM バージョン2 Profile 1 version 1.1/Final Standard Profile） に対応する BD ビデオにて、ピクチャー・イン・ピクチャー、サブトラック音声、仮想パッケージなどの機能をお楽しみいただけます。サブトラック映像や音声は、ピクチャー・イン・ピクチャー機能に対応しているディスクから再生することができます。 再生方法については、ディスクの説明書を参照してください。

BD-LIVE （BD-ROM 規格 バージョン2 Profile 2） をサポートするディスクでは、BONUSVIEW (ボーナスビュー) 機能に加え、インターネットに接続することでムービートレーラーのダウンロードなどのインタラクティブ機能に対応できます。

1. ネットワーク接続と設定を確認します (18～20 ページ参照)。

2. USB ストレージデバイスを前面パネルにある USB ポートに差し込みます。

ボーナスコンテンツをダウンロードするには、USB ストレージデバイスが必要です。

USB デバイスの接続

3. 決定(⌂) を押し、［設定］メニューの［BD-LIVE接続］項目を設定します (27 ページ)。

[BD-LIVE接続] の項目が [一部許可] に設定されていると、ディスクによっては BD-LIVE 機能が動作しない場合があります。

4. BD-LIVE機能のある BD-ROM ディスクを挿入します。

ディスクによって機能が異なります。ディスクの取扱説明書を参照してください。

注意

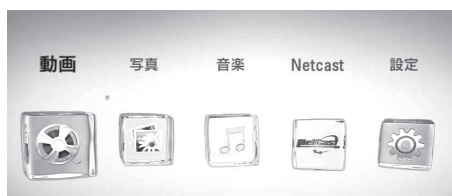
コンテンツをダウンロードしている最中や、ディスクトレイに Blu-ray ディスクがある場合は、接続されている USB デバイスを取り外さないでください。接続されている USB デバイスにダメージを与えることになり、このような USB デバイスでは BD-LIVE 機能を正常に動作できなくなります。このような行為により接続されていた USB デバイスがダメージしたのであれば、その USB デバイスをパソコンでフォーマットすることで、再び本機にて利用することができます。

注記

- コンテンツ提供者の意思により、アクセスが制限されている領域のある BD-LIVE コンテンツもあります。
- ディスクを挿入して BD-LIVE コンテンツを再生できるまでに数分かかる場合があります。
- 最低でも1GBの空き空量があるUSBフラッシュメモリーをお使いください。

映画ファイルや VR ディスクを再生する

VR フォーマットで録画された DVD-RW ディスクや、ディスク/ USB デバイスに収録された映画ファイルを再生することができます。

1. ホーム (⌂) を押します。

2. </> で [ムービー] 項目を選択し、決定 (◎) を押します。
3. </> で ［ディスク］ または [USB] 項目を選択し、決定 (◎) を押します。

ディスクと USB ディバイスが同時に本機に接続されている場合にのみ、このステップを行ってください。

4. ∧/∨/</> でファイルを選択してから、▶ （再生） または 決定 (◎) を押してファイルを再生します。

注記

- ファイルの必要条件については、8 ページに記載しています。
- いろいろな再生機能をお楽しみいただけます。 29 〜 37 ページを参照。
- ファイナライズされていない VR フォーマットの DVD ディスクは、本機では再生されない可能性があります。
- VR モードの DVD ディスクでは、DVD レコーダーによる CPRM 対応のメディアもあります。 本機は CPRM 対応のディスクの再生に対応しています。

  CPRM とは？
  CPRM とは、一回のみ録画可能 （コピーワンス） な放送番組を記録するためのコピー制御技術 （暗号鍵システム） です。
  CPRM はContent Protection for Recordable Media（記録可能なメディアの著作権保護）の略語です。

字幕ファイルを選択する MOVIE

映画ファイルと字幕ファイルのファイル名が同一の場合は、映画ファイルの再生中に自動的に字幕ファイルが再生されます。

映画ファイルと字幕ファイルのファイル名が異なる場合は、映画を再生する前に［ムービー］メニューから字幕ファイルを選択する必要があります。

1. ∧/∨/</> で ［ムービー］メニューから再生したい字幕ファイルを選択します。
2. 決定 (◎) を押します。

再度 決定(◉) を押して字幕ファイルの選択を解除します。 映画ファイルを再生すると、選択した字幕ファイルが表示されます。

> **注記**
>
> 再生中に (■)(停止) を押すと、字幕表示が消えます。

字幕コードページを変更する

MOVIE

字幕が正しく表示されない場合は、字幕コードのページを変更して字幕ファイルを適切に表示することができます。

1. 再生中に かんたんメニュー (◻) を押して、OSD 画面を表示します。
2. Λ/V で［DivX コード用ページ］項目を選択します。
3. </> で希望するコードの項目を選択します。

4. 戻る (↶) を押して かんたんメニューを終了します。

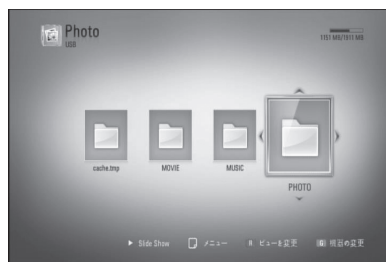
写真を見る

本機で写真ファイルをご覧いただけます。

1. ホーム (⌂) を押します。

2. </> で [写真] 項目を選択し、決定 (◉) を押します。
3. </> で ［ディスク］ または [USB] 項目を選択し、決定 (◉) を押します。

   ディスクと USB ディバイスが同時に本機に接続されている場合にのみ、このステップを行ってください。

4. Λ/V/</> ボタンでファイルを選択してから、決定 (◉) を押して写真をフルスクリーンで表示します。

スライドショーを再生するには

▶ (再生) を押してスライドショーを開始します。

スライドショーを停止するには

スライドショーの再生中に ■ (停止) を押します。

スライドショーを一時停止する

スライドショーの再生中に ❚❚ (一時停止) を押します。
▶ (再生) を押してスライドショーを再度開始します。

前/次の写真にジャンプするには

フルスクリーンで写真を閲覧中に、
< または > を押して前/次の写真へ移動します。

> **注記**
>
> - ファイルの必要条件については、8 ページに記載しています。
> - いろいろな再生機能をお楽しみいただけます。29 ～ 37 ページ参照。

写真を見ながらできること

フルスクリーンでの写真の閲覧中に多彩なオプションをお楽しみいただけます。

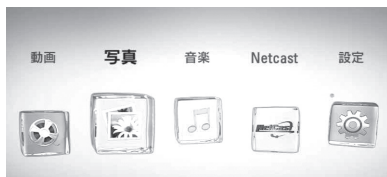
1. フルスクリーンで写真を閲覧中に、かんたんメニュー (▢) を押してオプションメニューを表示します。
2. Λ/V で項目を選択します。

- **1 現在の写真/写真の総数** – </> で前/次の写真を表示します。
- **2 スライドショー** – 決定(◉) を押して、スライドショーを開始/一時停止します。
- **3 音楽を選択** – スライドショーの BGM を選択します (42 ページ)。
- **4 音楽** –決定 (◉) を押して、BGM を開始/一時停止します。
- **5 回転** – 決定 (◉) を押して写真を時計回りに回転させます。
- **6 ズーム** – 決定 (◉) を押して [ズーム] メニューを表示します。
- **7 効果** – </> でスライドショーの写真間の切り換え効果を選択します。
- **8 スピード** – </> でスライドショーの写真間の表示速度を選択します。

3. 戻る (↶) を押してオプションメニューを終了します。

スライドショー再生中に音楽を聴く

音楽ファイルを聴きながら写真を表示することができます。

1. ホーム (⌂) を押します。

2. </> で [写真] の項目を選択し、決定 (◉) を押します。

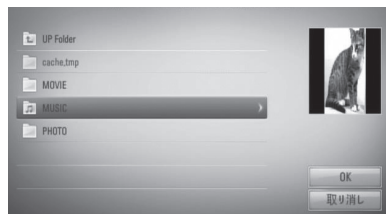
3. </> で［ディスク］または [USB] 項目を選択し、決定 (◉) を押します。

4. Λ/V/</> でファイルを選択してから、決定 (◉) を押して写真を表示します。

5. かんたんメニュー (□) を押してオプションメニューを表示します。

6. Λ/V で［音楽を選択］項目を選択してから 決定 (◉) を押して、[音楽を選択］メニューを表示します。

7. Λ/V でデバイスを選択して、決定 (◉) を押します。

8. Λ/V で再生したいファイルまたはフォルダーを選択します。

フォルダーを選択してから 決定 (◉) を押して、下の階層のディレクトリを表示します。

□ を選択してから 決定 (◉) を押して、上の階層のディレクトリを表示します。

9. > で［OK］を選択してから、決定 (◉) を押して音楽の選択を終了します。

音楽を聴く

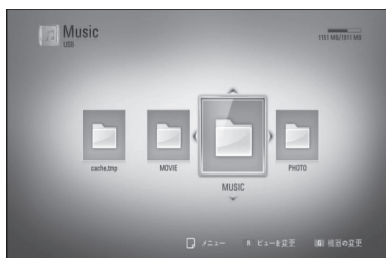
本機では、オーディオCD や音楽ファイルを再生することができます。

1. ホーム ( ) を押します。

2. </> で [音楽] 項目を選択し、決定 (◉) を押します。

3. </> で ［ディスク］ または [USB] 項目を選択し、決定 (◉) を押します。

ディスクと USB ディバイスが同時に本機に接続されている場合にのみ、このステップを行ってください。

4. Λ/V/</> で音楽ファイルまたはオーディオトラックを選択してから、決定 (◉) を押して音楽を再生します。

> **注記**
>
> - ファイルの必要条件については、8 ページに記載しています。
> - いろいろな再生機能をお楽しみいただけます。29 ～ 37 ページ参照。

オーディオ CD の記録

オーディオ CD から希望するトラックを 1 つ、または全トラックを USB ストレージデバイスに記録することができます。

1. USB ストレージデバイスを前面パネルにある USB ポートに差し込みます。

2. ⏏ （開/閉） を押して、オーディオ CD をディスクトレイに置きます。

   ⏏ （開/閉） を押してディスクトレイを閉めます。 自動的に再生を開始します。

3. かんたんメニュー を押してオプションメニューを表示します。

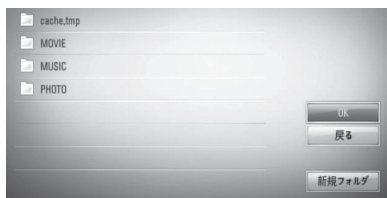
4. Λ/V で［CDレコーディング］項目を選択して 決定を押し、［CDレコーディング］メニューを表示します。

5. Λ/V でメニューからコピーしたいトラックを選択し、決定 を押します。

   このステップを繰り返して、いくつでも好きなだけトラックを選択することができます。

全て選択	オーディオ CD のトラックをすべて選択します。
オプション	ポップアップメニューからエンコードのレートを選択します (128kbps、192kbps、320kbps、ロスレス)。
戻る	記録を中止し、前の画面に戻ります。

6. **6.** ∧/∨/</> で［スタート］を選び、決定 (◉) を押します。

7. ∧/∨/</> でコピー先のフォルダーを選択します。

新規フォルダーを作成する場合は、∧/∨/</> で［新規フォルダ］を選び、決定 (◉) を押します。

仮想キーボードでフォルダー名を入力してから［OK］を選択し、決定 (◉) を押します。

8. ∧/∨/</> で［OK］を選び、決定 (◉) を押してオーディオ CD の記録を開始します。

実行中のオーディオ CD の記録を停止したい場合は、［取り消し］をハイライトしてから 決定 (◉) を押してください。

9. オーディオ CD の記録が完了するとメッセージが表示されます。
決定 (◉) を押して、コピー先フォルダーに作成された音楽ファイルを確認してください。

注記

- 次の表には、例として、再生時間 4 分のオーディオトラックを 192 kbps のエンコードレートで音楽ファイルに記録した場合の平均的な記録時間を表示しています。

停止モード	再生中
1.4 分	2 分

- 上記に表示してある時間はすべて目安です。
- 実際に USB ストレージデバイスへのコピーにかかる時間は、USB ストレージデバイスの性能によって異なります。
- USB ストレージデバイスに記録する場合は、50 MB 以上の空き容量があることを確認してください。
- 適切に記録するには、音楽の長さが 20 秒以上である必要があります。
- オーディオ CD を記録している最中は、本機の電源を切ったり、接続された USB ストレージデバイスを抜いたりしないでください。

不正コピー防止されている著作物は、コンピュータープログラム、ファイル、放送番組、録音などを含み、これらを許可なくコピーすることは、著作権の侵害で刑事犯罪の行為となる可能性があります。そのような行為を目的として本機を使用しないでください。

責任を持つ
著作権を尊重する

Gracenote Media Database からの情報を見る

本機では、Gracenote Media Database にアクセスして音楽情報を取り込むことができるので、トラック名やアーティスト名、ジャンルやその他の情報をリストに表示することができます。

オーディオ CD

オーディオ CD を挿入すると、本機は自動的に再生を開始し、音楽のタイトルを Gracenote Media Database から取り込みます。

データベースに音楽情報がない場合は、音楽のタイトルは画面に表示されません。

音楽ファイル

1. Λ/V/</>で音楽ファイルを選択します。
2. かんたんメニュー (□) を押してオプションメニューを表示します。
3. Λ/V で [情報] 項目を選択してから、決定 (◉) を押します。

   本機は Gracenote Media Database にアクセスして音楽情報を取得します。

BD/DVD/映画ファイル

再生中の映画の音楽を聴いている最中に ミュージックID を押して Gracenote Media Database からの音楽情報の取り込みを開始します。

注記

- Gracenote Media Database にアクセスするには、本機がブロードバンド回線のインターネットに接続されている必要があります。
- 音楽情報が Gracenote Media Database にない場合は、画面にメッセージが表示されます。
- Gracenote Media Database から配信される情報が間違っている場合や存在しない場合は、ウェブサイトの www.gracenote.com よりお問い合わせください。
- 場合によっては、Gracenote Media Database から音楽情報を取り込むのに数分かかります。
- 本機に設定している言語が Gracenote Media Database で提供されていない場合は、情報が英語で表示される可能性があります。
- または内部の無線モジュール。
- 当社は Gracenote 技術供与を受けていますが、Gracenote Media Database からの情報やその信頼性に関しては一切の責任を負いません。

NetCast™ Entertainment Access 機能を利用する

NetCast Entertainment Access 機能を利用して、インターネットからいろいろなコンテンツサービスをお楽しみいただけます。

1. ネットワークの接続と設定を確認します (18〜20 ページ参照)。
2. ホーム (⌂) を押します。
3. </> ボタンで [NetCast] 項目を選択し、決定 (◉) を押します。
4. </> で項目を選択し、決定 (◉) を押します。

YouTube™ – 46〜49 ページ参照	
Picasa™ Web Albums – 50〜52 ページ参照	
AccuWeather – 53〜54 ページ参照	

5. NetCast からのオンラインコンテンツを表示中に、青色 (B) ボタンを押して NetCast ホーム画面に移動します。

注記

NetCast のホーム画面の背景画像は、AccuWeather 機能で選んだお好みの町の天気を表示します。

YouTube™ を楽しむ

当社製の BD プレイヤーを接続したテレビから YouTube™ の動画を閲覧・検索し、ご覧になることができます。

テレビで YouTube™ を楽しむ

1. 本機で、</> で［NetCast］ メニューの [YouTube™] 項目を選択し、決定 (◉) を押します。
2. Λ を押してオプションメニューバーを選択します。
3. </> で項目を選び、決定 (◉) を押して動画を検索します。
4. </> で動画を選び、決定 (◉) または ▶ (再生) 押して動画を再生します。

ボタン	操作
▶ または決定	コンテンツ詳細のあるビデオの再生を開始します。
かんたんメニュー	フルスクリーンでの再生画面とコンテンツ詳細のある再生画面とを切り換えます。
❚❚	再生中のビデオを一時停止します。もう一度 ▶ を押すと、一時停止中のビデオを再開します。
■	ビデオが停止し、関連のビデオリストが表示されます。
◀◀/▶▶	再生の早送り/早戻しをします。

YouTube™ メニューについて

YouTube™ メニューで多彩なオプションをお楽しみいただけます。 Λ/V/</> で項目を選択してから 決定 (◉) を押して、以下に記載されいるオプションをご利用ください。

おすすめ – 特集動画リストが表示されます。

最近の動画 – 更新された最新の動画リストが表示されます。

閲覧順 – 最も人気のある動画リストが表示されます。画面の下に期間オプションが表示されます。

評価順 – YouTube™ で評価の高い動画リストを表示します。画面の下に期間オプションが表示されます。

検索 – 仮想キーボードが表示されます。詳細については、49 ページの「ビデオを検索する」を参照してください。

履歴 – 本機で以前に再生したビデオリストが表示されます。最大 25 個分のビデオを保存することができます。

お気に入り – このオプションは、本機から YouTube™ サーバにログインしたときだけ表示されます。ご自分のアカウントで YouTube™ サーバに保存したビデオリストが表示されます。ビデオによっては、サーバに保存していても [お気に入り] の画面に表示されないものもあります。

ログイン (ログアウト) – ログインの仮想キーボードを表示したり、サインアウトの状態に戻します。詳細については、49 ページの「YouTube™ アカウントにログインする」を参照してください。

ローカル サイト – ご覧になりたい国のビデオを選択します。[ローカル サイト] メニューの一覧にある国は、YouTube™ のウェブサイトの一覧とは異なります。

注記

- YouTube™ メニューのビデオリストには、5 個分のビデオを表示することができます。緑色 (G) または黄色 (Y) のボタンを押すと、前後の 5 個のビデオを表示します。
- YouTube™ メニューから [閲覧順] または [評価順] の項目を選択すると、期間オプションが画面の下に表示されます。Λ/V/</> で期間オプションを選択して 決定 (◉) を押すと、選択した期間範囲内のビデオリストを表示します。
- 本機から検索したビデオリストは、パソコンのウェブブラウザから検索したリストと一致しない場合があります。
- ご利用のブロードバンド回線のスピードによって、YouTube™ ビデオの再生に、一時停止や停止、バッファリングなどが起こる場合があります。 1.5 Mbps 以上の接続スピードを推奨します。 最高品質の再生条件としては、4.0 Mbps の接続スピードが必要です。 お客様のインターネットサービスプロバイダ（ISP）のネットワークの状態によって、ブロードバンドのスピードが変わる場合があります。 高速接続の安定性に問題がある場合や、接続スピードを速めたい場合などは、契約している ISP にお問い合わせください。 多くの ISP では多彩なブロードバンド回線のスピードオプションを提供しています。

仮想キーボードを使う

仮想キーボードには、文字を入力するための入力モードが 2 種類あります。 黄色 (Y) ボタンを押すと、キーボードモードとキーパッドモードとが切り換わります。

キーボード モード

∧/∨/</> で画面の文字を選択し、決定を押して入力文字を決定します。

[全消去] – 前の画面に戻ります。

[スペース] – カーソル位置にスペースを挿入します。

[バックスペース] – 入力済みの文字をカーソル位置で削除します。

[ABC / abc / #+-=&] – 仮想キーボードの設定を、大文字、小文字、記号の順で切り換えます。

クリア を押して入力した文字をすべて解除します。

アクセント記号の文字を入力するには :

1. 仮想キーボードの ∧/∨/</> を使って文字を選びます。
2. かんたんメニュー (□) を押して拡張キャラクターセットを表示します。
3. </> で文字を選択してから 決定 を押します。

キーボードモードで入力可能な言語は、以下になります。英語、スペイン語、イタリア語、フランス語、ドイツ語、オランダ語、ポルトガル語、スウェーデン語、ポーランド語、チェコ語

キーパッド モード

このモードを使用することで、リモコンのボタンを押して文字を入力することができます。 入力する文字のボタンを 1 回、2 回、3 回、4 回と文字が表示されるまで押します。

ボタン	操作
クリア	入力済みの文字をカーソル位置で削除します。
リピート	カーソル位置にスペースを挿入します。
◀◀/▶▶	リモコンのキャラクターセットを変更します (#+-=&、123、ABC、または abc)

注記

キーパッドモードは、［YouTube™］ と [Picasa™ Web Albums］ 機能でのみ利用できます。

ビデオを検索する

最長 128 文字までの検索ワードを入力してビデオを検索することができます。

1. **</>** でメニューから [検索] 項目を選択し 決定 (◉) を押すと、仮想キーボードが表示されます。

   仮想キーボードの使用については、48 ページの 「仮想キーボードを使う」 を参照してください。

   文字を入力する際に、最大 5 文字の変換例が表示されます。

2. 検索ワードの入力後に [OK] を選択し、決定 (◉) を押して関連のビデオリストを表示します。

YouTube™ のアカウントにログインする

アカウントを使用して YouTube™ サーバにあるご自分の [お気に入り] のビデオリストからビデオをご覧になるには、YouTube™ アカウントにログインする必要があります。

1. **</>** でメニューから [サイン イン] 項目を選択し 決定 (◉) を押すと、仮想キーボードが表示されます。

2. **∧/∨/</>** を使って文字を入力し、決定 (◉) を押して仮想キーボードメニューの入力を決定してください。

   仮想キーボードの使用については、48 ページの 「仮想キーボードを使う」 を参照してください。

3. ユーザー名とパスワードを入力後、[OK] を選択してから 決定 (◉) 押してログインします。

4. サインアウトするときは、YouTube™ メニューから [ログアウト] を選択し 決定 (◉) を押します。

本機は以前にログインしたユーザー名を、全部で 5個まで保存することができます。[サイン イン] 項目を選択するとユーザー名リストが表示されます。

リストに保存されているユーザー名の 1 つを選んで 決定 (◉) を押すと、選択したユーザー名が既に入力された状態でキーボードメニューが表示されます。 あとはパスワードを入力するだけでログインできます。

[X] 記号を選択して 決定 (◉) を押すと、保存されているユーザー名が削除されます。

Picasa™ ウェブアルバム を見る

Picasa™ のインターネットサービスで友達や家族からの写真アルバムをお楽しみいただけます。

テレビで Picasa™ ウェブアルバムを見る

1. 本機で、</> で ［NetCast］ メニューの [Picasa™ Web Albums] 項目を選択して、決定 (◉) を押します。

   注目の写真が画面に表示されます。

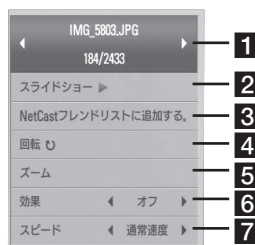
2. Λ/V/</> で写真を選択してから、決定 (◉) を押して写真をフルスクリーンで表示します。

ボタン	操作
▶	スライドショーを開始します。
かんたんメニュー	写真項目メニューを表示します。
❚❚	スライドショーを一時停止します。もう一度 ▶ を押すと、一時停止中のスライドショーを再開します。
■	スライドショーを停止して Picasa™ メニューに戻ります。
</>	次または前の写真へ移動します。

写真を見ながらできること

フルスクリーンでの写真の閲覧中に多彩なオプションをお楽しみいただけます。

1. フルスクリーンで写真を閲覧中に、かんたんメニュー (▢) を押してオプションメニューを表示します。

2. Λ/V で項目を選択します。

1 **現在の写真/写真の総数** – </> で前/次の写真を表示します。

2 **スライドショー** – 決定 (◉) を押してスライドショーを開始/一時停止します。

3 **NetCastフレンドリストに追加する。** – 表示中の写真作成者をご自分の友達リストへ追加します。

4 **回転** – 決定 (◉) を押して写真を時計回りに回転させます。

5 **ズーム** – 決定 (◉) を押して [ズーム] メニューを表示します。

6 **効果** – </> でスライドショーの写真間の切り換え効果を選択します。

7 **スピード** – </> でスライドショーの写真間の表示速度を選択します。

3. 戻る (↩) を押してオプションメニューを終了します。

Picasa™ メニューについて

Picasa™ メニューで多彩なオプションをお楽しみいただけます。 ∧/∨/</> でメニューを選択してから 決定 (◉) を押して、以下に記載されているオプションをご利用ください。

ホーム – 注目の写真リストが表示されます。

NetCast フレンド – 友達リストが表示されます。

検索 – 検索ワードを入力して関連写真を探します。仮想キーボードが表示されます (52 ページ)。

マイフォト – Picasa™ ウェブアルバム に保存した写真を表示します。このオプションは、本機から Picasa™ ウェブアルバム にログインしたときだけ利用できます。

お気に入り – Picasa™ ウェブサーバのご自分のアカウントに保存されているお気に入りのウェブアルバムを 50 個まで表示します。このオプションは、本機から Picasa™ ウェブアルバム にログインしたときだけ利用できます。

ログイン (ログアウト) – ログインの仮想キーボードを表示したり、サインアウトの状態に戻します (52 ページ)。

注記

[マイフォト］や［お気に入り］で表示された写真は、パソコンのウェブブラウザで表示された写真とは一致しない場合があります。

友達を追加する

友達を ［NetCast フレンド］ メニューに追加すると、友達が公開している写真を直接見ることができます。

1. ∧/∨/</> で Picasa™ メニューから [NetCast フレンド] を選択して、決定 (◉) を押します。

2. 決定 (◉) を押して仮想キーボードを表示します。
3. 仮想キーボードで名前を入力します。

   仮想キーボードの使用については、48 ページの 「仮想キーボードを使う」 を参照してください。
4. ∧/∨/</> で [OK] を選択してから、決定 (◉) を押して友達のウェブアルバムを表示します。

注記

- リストから友達を削除する場合は、ウェブアルバムを選択して緑色 (G) のボタンを押してください。
- 友達を追加する場合は、リスト上で赤色 (R) のボタンを押してください。
- 友達のウェブアルバムは 50 個まで追加することができます。

写真を検索する

検索ワードを入力して関連写真を探すことができます。

1. ∧/∨/</> で Picasa™ メニューから [検索] を選択して、決定 (◉) を押します。
2. 仮想キーボードで検索ワードを入力します。

   仮想キーボードの使用については、56 ページの「仮想キーボードを使う」を参照してください。
3. ∧/∨/</> で [OK] を選択してから、決定 (◉) を押して検索結果を表示します。

> **注記**
>
> 本機で検索した結果は、パソコンのウェブブラウザから検索した結果と一致しない場合があります。

アカウントにログインする

ウェブアルバムに保存した写真を画面に表示するには、Picasa™ アカウントにログインする必要があります。

1. ∧/∨/</> で Picasa™ メニューから [ログイン] を選択して、決定 (◉) を押します。

2. 仮想キーボードでユーザー名を入力してから ［OK］ を選択し、決定 (◉) を押します。

   仮想キーボードの使用については、56 ページの「仮想キーボードを使う」を参照してください。
3. 仮想キーボードでパスワードを入力してから ［OK］ を選択し、決定 (◉) を押します。

   画面にウェブアルバムが表示されます。
4. ログアウトするときは、Picasa™ メニューから [ログアウト] を選択して 決定 (◉) を押します。

本機は以前にログインしたユーザー名を、全部で 5個まで保存することができます。[ログイン] 項目を選択するとユーザー名リストが表示されます。

リストに保存されているユーザー名の 1 つを選んで 決定 (◉) を押すと、選択したユーザー名が既に入力された状態で仮想キーボードが表示されます。 あとはパスワードを入力するだけでログインできます。

[X］ 記号を選択して 決定 (◉) を押すと、保存されているユーザー名が削除されます。

AccuWeather を利用する

AccuWeather.com からのローカルや世界のオンライン天気予報を見ることができます。

天気情報を見る

1. 本機で、</> で ［NetCast］ メニューの [AccuWeather] 項目を選択して、決定 (◉) を押します。

都市を選択するメニューが画面に表示されます。

2. [都市をお気に入り都市リストに追加] を選択して 決定 を押します。

3. ∧/∨ で地域を選択し、決定 (◉) を押します。

4. ∧/∨/</> で国を選択し、決定 (◉) を押します。

5. ∧/∨/</> で都市を選択し、決定 (◉) を押します。

6. ∧/∨/</> で ［ホーム］ を選択して 決定 (◉) を押すと、選択した都市の天気情報を表示します。

赤色 (R) のボタンで、華氏温度計と接し温度計の表示を切り換えます。

7. </> で前や次の都市を選択して 決定 (◉) を押し、天気情報を表示します。

このステップは、［お気に入り都市リスト］ に 複数の都市を追加した場合にのみ利用できます。

注記

- 天気情報はいつも正確なわけではありません。
- 本機に設定している言語で AccuWeather サービスを利用できない場合は、天気情報が英語で表示される可能性があります。

都市を追加する

1. </> で AccuWeather メニューから［お気に入り都市リスト］を選び、決定 (◉) を押します。

2. [都市をお気に入り都市リストに追加] を選択して 決定 (◉) を押します。

3. Λ/V/</> で地域、国、都市を選択し、決定 (◉) を押します。

4. ステップ 2〜3 を繰り返して、都市を 5 個まで追加できます。

[X］ 記号を選択して 決定 (◉) を押すと、保存されているお気に入りの都市が削除されます。

5. Λ/V で [お気に入り都市リスト] から都市を選択し、 決定 (◉) を押して天気情報を表示します。

5
お手入れについて

ディスクについてのご注意

ディスクの取り扱い

ディスクの再生面には手を触れないでください。表面に指紋が付かないように、ディスクの両端を持ちます。ディスクに紙やテープなどを絶対に貼らないでください。

ディスクの保管

ご使用後はディスクを所定の保護ケースに入れて保管してください。ディスクを直接日光の当たる場所や高温な場所に置かないでください。絶対に直射日光の当たる車内に放置したままにしないでください。

ディスクのお手入れ

指紋やほこりによるディスクの汚れは、画質の乱れや音声の低下の原因になります。再生する前に、きれいな布でディスクを拭き取ってください。ディスクの中央から外へ向かって拭いていきます。

アルコールやベンジン、シンナー、市販のクリーナー、または古いビニールレコード用の静電気防止スプレーなどの強い溶剤は使用しないでください。

機器の取り扱い

機器を輸送するとき

製品の出荷カートンと梱包材は保管してください。本機を輸送する必要が生じたときは、破損を避けるために、工場出荷時に梱包されていたように再梱包してください。

外部表面をクリーンな状態に保つ

- 本機のそばで殺虫剤スプレーなどの揮発性の液体を使用しないでください。
- 強く拭き取ると表面を傷つけることがあります。
- ゴムやプラスチック製品を長時間本機に触れたままにしないでください。

機器のお手入れ

プレイヤーのお手入れには、乾いた柔らかい布をご使用してください。表面がかなり汚れている場合は、薄めた洗剤液で軽く湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。アルコールやベンジン、シンナーなどの強い溶剤は、機器の表面を傷つける恐れがありますので使用しないでください。

機器のメンテナンス

機器はハイテクの精密装置です。光ピックアップレンズやディスクドライブ部分が汚れたり消耗したりすると、画質が低下する可能性があります。詳細についてはお近くのサービスセンターにお問い合わせください。

6
よくあるトラブルと解決方法

一般

症状	電源が入らない。
電源が入らない。	• 電源プラグをコンセントに確実に接続してください。
本機が再生しない。	• 再生可能なディスクを挿入してください 。(ディスクの種類、カラーシステム、リージョンコードを確認してください）。 • 再生面を下にしてディスクを置いてください。 • ディスクをディスクトレイ内に正しく置いてください。 • ディスクを拭いてください。 • レーティング機能を解除するか、レーティングのレベルを変更してください。
アングルを変更できない。	• 再生中の DVD ビデオには複数のアングルが記録されてない。
音楽/写真/映画ファイルを再生できない。	• 本機で再生できるフォーマット形式でファイルが記録されていない。 • 映画ファイルのコーデックに本機が対応していない。
リモコンが正常に機能しない。	• 本機のリモコン受光部に向けてリモコンを操作していない。 • リモコンと本機との距離が離れている。 • 本機とリモコンの間に障害物がある。 • リモコンの乾電池が切れている。
電源プラグが接続されているのに電源が入らない、または切れない。	次の方法で本機をリセットしてください。 1. 電源 ボタンを 5 秒以上押し続ける。本機が強制的に再起動します。 2. 電源コードを取り外し、5 秒以上待ってから再度差し込む。
本機が正常に動作していない。	

画像

症状	電源が入らない。
画像が映らない。	• テレビ画面に本機からの画像が映るように、適切な入力モードをテレビ側で選択してください。 • ビデオを確実に接続してください。 • [設定] メニューの [HDMIカラー設定] がビデオ接続に適合する項目に設定されているか確認してください。 • テレビが本機で設定している解像度に対応していない。テレビが対応する解像度に変更してください。 • 本機の HDMI 出力 端子が、著作権保護に対応しない DVI 機器に接続されている。
画像にノイズが現れる。	• テレビのカラーシステムと一致しない放送ステムで記録されたディスクを再生している。 • テレビが対応する解像度に変更してください。

音声

症状	電源が入らない。
音が出ない、または音が乱れる。	• オーディオを確実に接続してください。 • アンプの入力ソース設定またはアンプへの接続が間違っている。 • 本機がスキャン、スローモーション、一時停止モードになっている。 • 音量が低い。 • 接続されているアンプが本機から出力される音声フォーマットに対応しているか確認してください。 • 本機の HDMI 出力 端子が DVI 機器に接続されている。DVI 端子は音声信号に対応しません。 • 本機の HDNI 出力 端子に接続されている機器が本機から出力される音声フォーマットに対応するか確認してください。

ネットワーク

症状	電源が入らない。
BD-LIVE 機能が動作しない。	• 接続されている USB ストレージの空き容量が不足している。1 GB 以上の空き容量のある USB ストレージを接続してください。 • 本機がローカルエリアネットワーク （LAN） に正しく接続され、インターネットにアクセスできる環境であるか確認してください (18～20 ページ参照)。 • BD-LIVE 機能を利用するには、ブロードバンド回線のスピードが十分な速さではない。ご利用のインターネットサービスプロバイダ （ISP） にお問い合わせいただき、ブロードバンド回線のスピードを速くすることを推奨します。 • [設定] メニューの [BD-LIVE接続] の項目が [禁止] に設定されている。[許可] に設定してください。
YouTube™ などのビデオストリームサービスが、再生中に停止したり「バッファ」 したりすることが多い。	• ビデオストリームサービスを利用するには、ブロードバンド回線のスピードが十分な速さではない。ご利用のインターネットサービスプロバイダ （ISP） にお問い合わせいただき、ブロードバンド回線のスピードを速くすることを推奨します。

カスタマー サポート

製品の動作機能を向上させたり、新しい機能を追加するために、最新のソフトウェアにて本機を更新することができます。本機の最新のソフトウェアを取得するには(更新がある場合）、http://lgservice.com にアクセスするか、 LG Electronics のカスタマーセンターにご連絡ください。

7
補足説明

付属のリモコンでテレビを操作する

以下に記載するボタンで、ご利用のテレビを操作してください。

ボタン	操作
⏻ (TV 電源)	テレビの電源をオン/オフします。
入力切替	入力信号に合わせてテレビの入力を切り換えます。
PR/CH ∧/∨	設定されているテレビ チャンネルをアップ/ダウンして切り換えます。
音量 +/–	テレビの音量を調節します。

注記

接続されている機器よっては、ご利用のテレビを操作できないボタンもあります。

リモコンにお使いのテレビを設定する

付属のリモコンで、ご利用のテレビを操作することができます。
以下の表のリストにご使用のテレビがある場合は、適切な製造メーカー コードを本機リモコンに設定してください。

1. ⏻ (TV 電源) ボタンを押したままの状態で、数字ボタンを使ってテレビの製造メーカー コードを押します (以下の表を参照)。

製造メーカー	コード番号
LG	1（初期設定）、2
ゼニス	1、3、4
ゴールドスター	1、2
サムスン	6、7
ソニー	8、9
日立	4

2. ⏻ (TV 電源) ボタンから手を放すと設定が完了します。

正しい製造メーカー コードを入力した後でも、お使いのテレビによっては、すべてか一部のボタン操作が機能しない場合があります。 リモコンの電池を入れ換える際に、設定したコード番号が初期設定にリセットされることがあります。 その場合は、適切なコード番号を再度設定してください。

ネットワークソフトウェアの更新

ネットワーク更新の通知

本機がブロードバンド回線のホームネットワークに接続されている場合は、そのつどに、パフォーマンスが向上した機能や追加機能を本機で入手できるようにすることができます。利用可能な新しいソフトウェアがあり、本機がブロードバンド回線のホームネットワークに接続されている場合は、本機が次のようにして更新情報を通知します。

オプション 1:

1. 本機の電源を入れると、画面に更新メニューが表示されます。
2. </> で希望する項目を選び、決定 (◉) を押します。

[OK]
ソフトウェアの更新を開始します。

[取り消し]
更新メニューを終了し、次回起動した時に表示します。

[非表示]
更新メニューを終了し、アップデートサーバに次のソフトウェアがアップロードされるまで表示されません。

オプション 2:

アップデートサーバに利用可能なソフトウェアの更新があると、「更新」アイコンがホームメニューの下部に表示されます。青色 (B) のボタンを押して更新手続きを開始します。

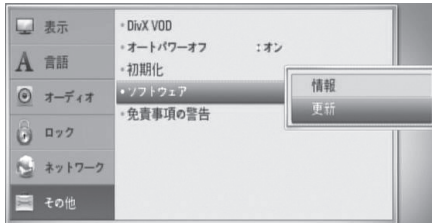
ソフトウェアの更新

製品の動作機能を向上させたり、新しい機能を追加するために、最新のソフトウェアにて本機を更新することができます。本機をソフトウェア更新サーバに直接接続することで、ソフトウェアの更新ができます。

注意

- ソフトウェアの更新を行う前に、すべてのディスクと USB デバイスを本機から取り外してください。
- ソフトウェアの更新を行う前に本機の電源を切り、再度電源を入れ直してください。
- **ソフトウェアの更新中は、本機の電源を切ったり、AC 電源からコンセントを抜いたり、ボタンを押したりしないでください。**
- 更新の手続きを取り消した場合は、パフォーマンスの安定性を保つために、一度電源を切ってから入れ直してください。
- 古いバージョンのソフトウェアに更新することはできません。

1. ネットワーク接続と設定を確認します (18〜20 ページ参照)。
2. [設定] メニューから [ソフトウェア] 項目を選択し、決定 (◉) を押します。

3. [更新］項目を選択して、決定 (◉) を押します。

本機が最新の更新状態であるか確認します。

注記

- 更新の確認をしている最中に 決定 を押すと、作業は途中で終了します。
- 利用可能な更新がない場合は、「アップデートが見つかりません。」のメッセージが表示されます。決定 を押して [ホームメニュー] に戻ります。

4. 新しいバージョンがある場合は、「新しいアップデートが見つかりました。ダウンロードしますか？」のメッセージが表示されます。

5. [OK] を選択して更新ファイルをダウンロードします。
([取り消し] を選択すると更新が終了します）。

6. 本機は、サーバから最新の更新ファイルのダウンロードを開始します。
(ホームネットワークの状態によってはダウンロードに数分かかります）。

7. ダウンロードが完了すると、「ダウンロードが完了しました。アップデートしますか？」のメッセージが表示されます。

8. [OK］ を選択して更新を開始してください。
([取り消し] を選択すると更新を終了し、ダウンロードしたファイルを利用することはできません。次回にソフトウェアを更新する場合は、ソフトウェアの更新手順を初めから再度行ってください。）

注意

ソフトウェアの更新中は電源を切らないでください。

注記

ソフトウェアにドライバの更新が含まれている場合は、途中でディスクトレイが開く可能性があります。

9. 更新が完了すると、「アップデートが完了しました。」のメッセージが表示され、5 秒後に自動的に電源が切れます。

10. 電源を入れ直してください。システムが新しいバージョンで動作します。

注記

ソフトウェア更新の機能は、お客様のインターネット環境によって正しく動作しない場合があります。この場合は、当社承認の LG Electronics サービスセンターから最新のソフトウェアを取得し、更新を行ってください。58 ページの「カスタマーサポート」を参照してください。

エリアコード一覧

このリストから国コードを選択してください。

エリア	コード	エリア	コード	エリア	コード	エリア	コード
アフガニスタン	AF	フィジー	FJ	モナコ	MC	シンガポール	SG
アルゼンチン	AR	フィンランド	FI	モンゴル	MN	スロバキア共和国	SK
オーストラリア	AU	フランス	FR	モロッコ	MA	スロベニア	SI
オーストリア	AT	ドイツ	DE	ネパール	NP	南アフリカ	ZA
ベルギー	BE	英国	GB	オランダ	NL	韓国	KR
ブータン	BT	ギリシャ	GR	オランダ領アンティル諸島	AN	スペイン	ES
ボリビア	BO	グリーンランド	GL	ニュージーランド	NZ	スリランカ	LK
ブラジル	BR	香港	HK	ナイジェリア	NG	スウェーデン	SE
カンボジア -	KH	ハンガリー	HU	ノルウェー	NO	スイス	CH
カナダ	CA	インド	IN	オマーン	OM	台湾	TW
チリ	CL	インドネシア	ID	パキスタン	PK	タイ	TH
中国	CN	イスラエル	IL	パナマ	PA	トルコ	TR
コロンビア	CO	イタリア	IT	パラグアイ	PY	ウガンダ	UG
コンゴ	CG	ジャマイカ	JM	フィリピン	PH	ウクライナ	UA
コスタリカ	CR	日本	JP	ポーランド	PL	合衆国	US
クロアチア	HR	ケニア	KE	ポルトガル	PT	ウルグアイ	UY
チェコ共和国	CZ	クウェート	KW	ルーマニア	RO	ウズベキスタン	UZ
デンマーク	DK	リビア	LY	ロシア連邦	RU	ベトナム	VN
エクアドル	EC	ルクセンブルク	LU	サウジアラビア	SA	ジンバブエ	ZW
エジプト	EG	マレーシア	MY	セネガル	SN		
エルサルバドル	SV	モルディブ諸島	MV				
エチオピア	ET	メキシコ	MX				

言語コード一覧

このリストを使用して、希望する言語を初期設定に入力してください。［ディスク音声言語］、［ディスク字幕言語］、［ディスクメニュー言語］。

言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード
アファル語	6565	フランス語	7082	リトアニア語	7684	シンド語	8368
アフリカーンス語	6570	フリジア語	7089	マケドニア語	7775	シンハリー語	8373
アルバニア語	8381	ガリシア語	7176	マダガスカル語	7771	スロバキア語	8375
アムハラ語	6577	グルジア語	7565	マライ語	7783	スロベニア語	8376
アラブ語	6582	ドイツ語	6869	マラヤーラム語	7776	スペイン語	6983
アルメニア語	7289	ギリシャ語	6976	マオリ語	7773	スーダン語	8385
アッサム語	6583	グリーンランド語	7576	マラッタ語	7782	スワヒリ語	8387
アイマラ語	6588	グアラニー語	7178	モルダビア語	7779	スウェーデン語	8386
アゼルバイジャン語	6590	グジャラト語	7185	モンゴル語	7778	タガログ語	8476
バシキール語	6665	ハウサ語	7265	ナウル語	7865	タジク語	8471
バスク語	6985	ヘブライ語	7387	ネパール語	7869	タミール語	8465
ベンガル語	6678	ヒンディー語	7273	ノルウェー語	7879	テルグ語	8469
ブータン語	6890	ハンガリー語	7285	オーリヤ語	7982	タイ語	8472
ビハール語	6672	アイスランド語	7383	パンジャブ語	8065	トンガ語	8479
デルターニュ語	6682	インドネシア語	7378	パシュト語	8083	トルコ語	8482
ブルガリア語	6671	インターリングア語	7365	イラン語	7065	トルクメン語	8475
ビルマ語	7789	アイルランド語	7165	ポーランド語	8076	トウィ語	8487
ベロルシア語	6669	イタリア語	7384	ポルトガル語	8084	ウクライナ語	8575
中国語	9072	日本語	7465	ケチュア語	8185	ウルドゥー語	8582
クロアチア語	7282	カンナダ語	7578	ラエト語	8277	ウズベク語	8590
チェコ語	6783	カシミール語	7583	ルーマニア語	8279	ベトナム語	8673
デンマーク語	6865	カザフ語	7575	ロシア語	8285	ボラピュック語	8679
オランダ語	7876	キルギス語	7589	サモア語	8377	ウェールズ語	6789
英語	6978	韓国語	7579	サンスクリット語	8365	ウォロフ語	8779
エスペラント語	6979	クルド語	7585	スコットランド高地ゲール語	7168	ホサ語	8872
エストニア語	6984	ラオス語	7679	セルビア語	8382	イディッシュ語	7473
フェロー語	7079	ラテン語	7665	セルボ クロアチア語	8372	ヨルバ語	8979
フィジー	7074	ラトビア語	7686	ショナ語	8378	ズールー語	9085
フィンランド語	7073	リンガラ語	7678				

商標およびライセンスについて

「Blu-ray Disc」 は商標です。

「BD-LIVE」ロゴは、Blu-ray Disc Association の商標です。

「BONUSVIEW」 は　Blu-ray Disc Association の商標です。

Java およびすべてのJava 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビー及びダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI licensing LLC の商標または登録商標です。

「DVD ロゴ」は、DVD フォーマットロゴライセンス (株) の商標です。

「AVCHD」 および 「AVCHD」 ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License 及びVC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。(i) AVC 規格及びVC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合(ii) 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVC/VC-1 ビデオを再生し、ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC/VC-1 ビデオを再生する場合。ライセンスの一切の譲渡、またはその他のいかなる使用も含めて禁止します。詳細については米国法人MPEG LA,LLC http://www.mpegla.com をご参照ください。

「YouTube™」は Google Inc. の商標です。

「Picasa™ Web Albums」は Google Inc. の商標です。

本製品は、米国特許 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616;6,487,535 号、7,212,872 号、7,333,929 号、7,392,195 号、7,272,567 号、または米国およびその他の国での登録済み特許、または特許申請中の実施権に基づき製造されています。DTS は DTS, Inc の登録商標であり、また、DTS ロゴ、記号、DTS-HD および DTS-HD Master Audio は DTS 社の商標です。© 1996-2008 DTS 社 不許複製。

DivX は DivX, Inc. の登録商標であり、使用許諾を得て使用しています。

「x.v.Color」 はソニー株式会社の商標です。

当社製品には、スタンバイモードでの革新的な消費電力システムが構築されています。電源プラグが差し込まれていても少量の電力しか消費しません。

Gracenote®、Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および/またはその他の国における Gracenote, Inc. の登録商標または商標です。

音楽認識テクノロジーおよび関連データはGracenote® によって提供されます。

Gracenote® エンド ユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenote データを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

オーディオ出力の仕様

種類 ＼ 端子と設定	アナログ出力 2CH	Digital Output (DIGITAL AUDIO OUT) *4		
		PCM ステレオ	DTS再エンコード*3 *5	プライマリパススルー
Dolby Digital	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
Dolby Digital Plus	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
Dolby TrueHD	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
DTS	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	DTS
DTS-HD	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	DTS
Linear PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch
Linear PCM 5.1ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch
Linear PCM 7.1ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch

種類 ＼ 端子と設定	HDMI OUT			
	PCM ステレオ	PCM Multi-Ch *3	DTS再エンコード*3 *5	プライマリパススルー *1 *2 *3
Dolby Digital	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	Dolby Digital
Dolby Digital Plus	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	Dolby Digital Plus
Dolby TrueHD	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	Dolby TrueHD
DTS	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	DTS
DTS-HD	PCM 2ch	PCM 7.1ch	DTS	DTS-HD
Linear PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Linear PCM 2ch
Linear PCM 5.1ch	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	Linear PCM 5.1ch
Linear PCM 7.1ch	PCM 2ch	PCM 7.1ch	DTS	Linear PCM 7.1ch

*1 [デジタル出力] または [HDMI] 項目が [プライマリパススルー] に設定されていると、サブトラック音声とインタラクティブ オーディオはビットストリーム出力に混合されません。(リニア PCM コーデックは除きます。インタラクティブ オーディオとサブトラック音声は常に混合されて出力されます)。

*2 本機は、[HDMI] 項目が [プライマリパススルー] に設定されていても、接続している HDMI 機器のデコーディング機能に応じて自動的に HDMI オーディオを選択します。

*3 [HDMI] 項目の [PCM Multi-Ch]/[プライマリパススルー] 設定と、［デジタル出力］ 項目の [DTS再エンコード] 設定は、同時に設定できません。同時に設定すると、[HDMI] または [デジタル出力] 項目は自動的に [PCM ステレオ] に設定されます。

*4 PCM オーディオ出力では、デジタル音声出力端子からのサンプリング周波数は 96 kHz に制限されています。

*5 [HDMI] または [デジタル出力] 項目が [DTS再エンコード] に設定されていると、オーディオ出力は 48 kHz の 5.1 Ch に制限されます。[HDMI] または [デジタル出力] 項目が [DTS再エンコード] に設定されていると、DTS 再エンコードオーディオはBD-ROM ディスクから出力され、元のオーディオはその他のディスク（[プライマリパススルー] など）に出力されます。

- ドルビーデジタルプラスまたはドルビーTrueHDオーディオの再生時に、[HDMI]オプションを[PCM Multi-CH]に設定していて、[デジタル出力]オプションを[プライマリパススルー]に設定している場合、デジタルオーディオ出力は「PCM 2ch」に制限されます。
- HDMI バージョン1.3 が接続されていてドルビーデジタルプラス/ドルビーTrueHD が HDMI 出力端子 から出力されると、デジタル音声出力端子は「PCM 2ch」 に制限されます (HDMI とデジタル音声出力端子が同時に接続されている場合)。
- 再生オーディオは、MP3/WMA ファイルでは PCM 48 kHz/16 ビット で出力され、オーディオCD では PCM 44.1KHz/16 ビット で出力されます。
- 収録されたブルーレイディスクによっては、ドルビー TrueHD の音声は ドルビーデジタル音声と True HD 音声で構成されます。TrueHD 音声が出力されていない場合は、ドルビーデジタル音声が デジタル音声出力端子から出力され、画面に 「DD」 と表示されます (例 : ［HDMI］ が [PCM ステレオ] に設定され、[デジタル出力] が [プライマリパススルー] に設定されている時)。
- [設定] メニューの [デジタル出力]、[HDMI]、そして [サンプリング周波数] 項目で、お使いのアンプ （またはオーディオ/ビデオレシーバー） が対応するデジタルオーディオ出力と最大サンプリング周波数を選択してください (25 ページ参照）。
- デジタルオーディオ接続 （デジタル音声出力 または HDMI） にて、[デジタル出力] または [HDMI] 項目が [プライマリパススルー] に設定されていると、BD-ROM のディスクメニューのボタン音が出力されない場合があります。
- デジタル出力でのオーディオフォーマットが、お持ちのレシーバーに互換性のない場合は、大きく歪んだオーディオが出力されるか、まったく出力されません。
- お持ちのレシーバーがマルチチャンネルのデジタルデコーダーを搭載している場合にのみ、デジタルオーディオからのマルチチャンネルのデジタルサラウンドをお楽しみいただけます。

7 補足説明

ビデオ出力の解像度

著作権保護されていないメディアを再生する場合

映像出力 / 解像度	HDMI 出力	コンポーネント映像出力, D端子出力	
		HDMI 接続時	HDMI 非接続時
480i	480p	480i	
480p	480p	480p	
720p	720p	720p	
1080i	1080i	1080i	
1080p /24 Hz	1080p / 24 Hz	480i	1080i
1080p / 60 Hz	1080p / 60 Hz	480i	1080i

著作権保護されているメディアを再生する場合

映像出力 / 解像度	HDMI 出力	コンポーネント映像出力, D端子出力	
		HDMI 接続時	HDMI 非接続時
480i	480p	480i	
480p	480p	480p	
720p	720p	480i	480p
1080i	1080i	480i	480p
1080p /24 Hz	1080p / 24 Hz	480i	480p
1080p / 60 Hz	1080p / 60 Hz	480i	480p

HDMI 出力端子との接続

- 解像度をご自身で選択してテレビのHDMI 端子に接続しても、お持ちのテレビがその接続に対応しない場合は、解像度の設定は [自動] に設定されます。
- お使いののテレビが対応していない解像度を選択すると、警告メッセージが表示されます。解像度を変更しても画面が映らない場合は、 20 秒ほどお待いただくと解像度は自動的に前に設定していた解像度に戻ります。
- 1080p の映像信号でのビデオ出力フレームレートは、接続されているテレビの仕様と優先設定、または BD-ROM ディスクに収録されたコンテンツの映像信号のフレームレートによって、24 Hz と 60Hz のどちらかが自動的に設定される場合があります。

コンポーネント映像出力端子との接続

BD または DVD のビデオストリームではアナログ出力のアップコンバートができない可能性があります。

映像出力端子との接続

映像出力端子からの解像度は、常に 480i で出力されます。

仕様

一般

電源：
AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：
20 W

外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行) :
約 430 x 44 x 204 mm (脚を含まず)

本体質量 (概算) ：
2 kg

許容周囲温度：
5° C～35° C

許容相対湿度：
5 %～90 %

出力

映像出力:
1.0 V (p-p)、75 Ω、ネガティブ sync.、ピンジャック 1系統

コンポーネント映像出力 :
(Y 出力レベル) 1.0 V (p-p)、75 Ω、ネガティブ sync.、ピンジャック 1系統、(Pb/Pr 出力レベル) 0.7 V (p-p)、75 Ω、ピンジャック 2系統

HDMI 出力 (映像/音声) :
19 ピン (HDMI 標準、Type A 端子)、バージョン 1.3

音声出力：
2.0 Vrms (1 kHz, 0 dB)、600 Ω、ピンジャック (左、右) 1系統

デジタル音声出力 (同軸) 端子：
0.5 V (p-p)、75 Ω、ピンジャック 1系統

映像出力 (D1/2/3/4) :
14-ピン, 2-ライン, 12.7mm-ピッチ, (Y) 1.0V (p-p), 75Ω (Pb)/(Pr) 0.7V (p-p), 75Ω

システム

レーザー：
半導体レーザー

波長：
405 nm / 650 nm

信号システム：
標準 NTSC テレビ放送システム

周波数特性：
20 Hz ～ 20 kHz
(48 Hz、96 kHz、192 kHz サンプリング)

S/N 比：
100 dB 以上
（アナログ出力端子の接続に限る)

全高調波歪率：
0.008 % 未満

ダイナミックレンジ：
95 dB 以上

LAN ポート：
Ethernet コネクター 1系統、10BASE-T/100BASE-TX

バスパワーサプライ (USB) :
DC 5 V ⎓ 500 mA

- 外観や仕様は予告なしに変更する場合があります。

ネットワークサービスについての重要なお知らせ

十分にお読みください。ネットワークサービスのご利用は次に記述する約款に従うものとします。

ネットワークサービスのご利用にはインターネット接続を必要としますが、これは本製品とは別に提供されるもので、お客様ご自身の責任で取得するものです。ご利用のインターネットサービスの品質、適応性、または技術的制限によって、ネットワークサービスが制限されたり禁止される場合があります。

ネットワークサービスは第三者に帰属し、著作権、特許、商標、その他の知的財産権の法律により保護されている可能性があります。ネットワークサービスは、お客様の私的かつ非営業目的使用のためだけに提供されるものです。各コンテンツの所有者やサービスプロバイダにより明確に許可されている場合を除き、本機でアクセスしたコンテンツやサービスを、いかなる方法または媒体において、改変、複製、再版、アップロード、掲示、送信、翻訳、販売、派生作品の創作、不正利用、頒布することは禁止されています。

弊社では、お客様のネットワークサービスのご利用に対する責任は負いかねます。ネットワークサービスは「現状有姿」で提供されます。弊社は法律で許容されている最大限の範囲内で、本機で入手可能なネットワークサービスについての (i) 正確性、妥当性、適時性、合法性、完全性について、また、(ii) ネットワークサービスが、本機やお客様がご使用しているコンピュータ、テレビ、その他の機器、またはその他の所有物に感染し損傷を与えたり、損害が発生する可能性のあるウィルスやその他の有害物質を保持していないこと等については、何ら表明も保証も行わないものとします。弊社は商品性、特定の目的への適合性の黙示的な保証を含みますが、これに限定されていないいかなる保証を放棄することを明言します。

いかなる状況のもと、またはいかなる法的権利においても、弊社は、ネットワークサービスに関する、またはネットワークサービスの利用から発生する、いかなる直接的、間接的、付随的、特殊的、法的、派生的、その他の損害、弁護士報酬費、費用に対し、それが契約、不法行為、厳格責任、またはその他のいずれに基づくものであろうと、また仮にそのような損害の可能性の通達を受けていたとしても、またはそのような損害が合理的に予測できるものであったとしても、お客様や第三者に対して一切の責任を負いません。

ネットワークサービスでは、停止や中断される可能性は常にあり、弊社はネットワークサービスの利用可能な期間について何ら表明も保証も行わないものとします。ネットワークサービスのご利用は、使用している第三者サービスプロバイダの約款の対象にもなる場合があります。ネットワークサービスは、弊社が管理していないネットワークや送信設備から第三者により送信されるものです。弊社は、すべてのネットワークサービスの停止や中断について、いかなる責任や義務をも放棄することを明言します。

弊社は、ネットワークサービスに関するカスタマーサービスについて、一切の責任と義務を負わないものとします。ご質問やご要望については、ご利用のネットワークサービスプロバイダに直接お問い合わせください。

「ネットワークサービス」とは、本製品を通じてアクセス可能な第三者のサービスを意味し、これはサービス上にある、またはサービス関連において利用する、すべてのデータ、ソフトウェア、リンク、メッセージ、ビデオ、その他のコンテンツをも含みますが、これに限定されるものではありません。

「弊社」とは、LG Electronics, Inc. の親会社、および世界中のすべての子会社、系列会社、関連会社を意味しています。

オープン ソース ソフトウェアに関するお知らせ

本機で使用されている次の GPL 実行ファイルおよび LGPL ライブラリは、GPL2.0/LGPL2.1 使用許諾契約書に従うものとします。

GPL 実行ファイル : Linux kernel 2.6、bash、busybox、cramfs、dhcpcd、e2fsprogs、fdisk、mkdosfs、mtd-utils、net-tools、procps、samba-3.0.25b、sysutils、tcpdump、tftpd、tinylogin、unzip、utelnetd

LGPL ライブラリ :uClibc、DirectFB、blowfish、cairo、ffmpeg、iconv、libusb、mpg123

gSOAP パブリックライセンス 1.3 ライブラリ : gsoap

LG Electronics は、CD-ROM のソースコードを、メディア媒体料、送料および手数料などの頒布に掛かる費用のみの料金で、要請に応じて提供いたします。ソースコードの入手につきましては、LG Electronics の E メールアドレス opensource@lge.com までお問い合わせください。このソースコードの提供は、LG Electronics が本製品を配布した日から 3 年間有効とします。

GPL ライセンスおよび LGPL ライセンスの複写を取得するには以下の URL にアクセスしてください。http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html およびhttp://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html

また、gSOAP のパブリックライセンスの複写を取得するには次の URL にアクセスしてください。http://www.cs.fsu.edu/~engelen/license.html

本ソフトウェアは、一部 Independent JPEG Group の開発 (copyright © 1991 – 1998、Thomas G. Lane) に基づいています。

本製品には以下のソフトウェアが含まれています。

- boost C++: copyright © Beman Dawes 1999-2003
- c-ares :copyright © 1998 マサチューセッツ工科大学
- curl: copyright © 1996 - 2008, Daniel Stenberg
- expat :copyright © 2006 expat 管理者
- freetype :copyright © 2003 The FreeType Project(www.freetype.org)
- jpeg :本ソフトウェアは、一部 Independent JPEG Group の開発 (copyright © 1991 – 1998、Thomas G. Lane) に基づいています。
- mng :copyright © 2000-2007 Gerard Juyn、Glenn Randers-Pehrson
- ntp :copyright © David L. Mills 1992-2006
- OpenSSL:
  - Eric Young により記述された暗号書記法ソフトウェア (eay@cryptsoft.com)。
  - Tim Hudson により記述されたソフトウェア (tjh@cryptsoft.com)。
  - OpenSSL Project により OpenSSL Toolkit 用に開発されたソフトウェア。(http://www.openssl.org)
- png: copyright © 2004 Glenn Randers-Pehrson
- portmap :copyright © 1990 カリフォルニア州立大学理事会
- ptmalloc : copyright © 2001-2006 Wolfram Gloger
- UnitTest++ :copyright © 2006 Noel Llopis および Charles Nicholson
- UPnP SDK : copyright © 2000-2003 Intel Corporation
- strace :
  copyright © 1991、1992 Paul Kranenburg
  copyright © 1993 Branko Lankester
  copyright © 1993 Ulrich Pegelow
  copyright © 1995、1996 Michael Elizabeth Chastain
  copyright © 1993, 1994, 1995、1996 Rick Sladkey
  copyright © 1999、2000 Wichert Akkerman
- xml2 : copyright © 1998-2003 Daniel Veillard
- C/C++ 用 XML-RPC :
  copyright © 2001 First Peer, Inc. 不許複製。
  copyright © 2001 Eric Kidd 不許複製。
- zlib :copyright © 1995- -2002 Jean-loup Gailly および Mark Adler

不許複製。

すべての人は、以下の条件を満たす限りにおいて、本ソフトウェアおよび関連文書ファイル （以下「ソフトウェア）といいます」 を複製すること、そしてこれを使用、複製、変更、結合、掲載、頒布、サブライセンス、または販売する権利、およびソフトウェアを提供する相手に同じことを許可する権利を含むがこれに限定されないという、制限のない取り扱いが無償で許可されます。

本ソフトウェアは、明示的にも黙示的にも、商品性や特定の目的への適合性、または非侵害の保証を含みますがこれに限定されない、何ら保証をするものではない 「現状有姿」 で提供されます。いかなる場合においても、本ソフトウェアは著作者または著作権保持者は、契約行為、不法行為あるいはその他の行為であろうと、本ソフトウェアの使用、またはその他のソフトウェアの取り扱いから生じる、またはこれに関係するか否かに関わらず、いかなるクレーム、損害、または他の義務に対して一切責任を負わないものとします。

修理の受付・操作・故障に関するお問合せ窓口

LG Electronics Japan ㈱カスタマーセンター

(フリーダイヤル) **0120-813-023**

受付時間：10:00〜18:00、土曜日10:00〜14:00（日・祝祭日・当社指定日を除く）
フリーダイヤルは携帯電話からはかかりません。
携帯電話の方は03−5675−7323までご連絡下さい。

修理に関するご案内

「故障かな？」と思ったら、取扱説明書を再度確認していただき、直らない場合には弊社まで修理をご依頼ください。

＜　　　　　　　　＞

保証書に「出張修理」と明記してあるものや、冷蔵庫・洗濯機・エアコン・大型テレビなどの大型家電製品は出張修理をおこないます。
弊社カスタマーセンターまでご依頼ください。

＜持込修理依頼方法＞

お買上げの販売店様に製品を持込んでいただくか、最寄の弊社サービスステーションまで直接製品の送付をお願いいたします。

[持込修理送付先]　2010 年 3 月現在

窓口名	所在地	電話番号	サービスエリア
札幌サービスステーション	〒065-0018 北海道札幌市東区北18条東8-1-26	TEL 011-742-9603 FAX 011-704-6110	北海道全域
仙台サービスステーション	〒989-3128 宮城県仙台市青葉区愛子中央3-25-7	TEL 022-391-0488 FAX 022-391-0278	青森　岩手　秋田 宮城　福島　山形
関東サービスステーション	〒358-0026 埼玉県入間市小谷田2-1-40	TEL 04-2965-8385 FAX 04-2965-7082	新潟　群馬　茨城　栃木 埼玉　長野　静岡(東部) 東京　千葉　山梨
神奈川サービスステーション	〒251-0003 神奈川県藤沢市柄沢176小池ビル1F	TEL 0466-26-9510 FAX 0466-25-9269	神奈川県全域
名古屋サービスステーション	〒481-0002 愛知県北名古屋市片場大石62	TEL 0568-25-6535 FAX 0568-25-2801	愛知　岐阜 静岡（西部）三重
北陸サービスステーション	〒920-3131 石川県金沢市百坂町ロ88番	TEL 076-257-0839 FAX 076-258-5932	石川　富山　福井
大阪サービスステーション	〒571-0070 大阪府門真市上野口町57-18	TEL 072-885-0445 FAX 072-881-3145	大阪　京都　奈良 滋賀　兵庫　和歌山
岡山サービスステーション	〒701-0206 岡山県岡山市箕島377-4	TEL 086-281-0666 FAX 086-281-8884	岡山　広島　山口 島根　鳥取
高知サービスステーション	〒780-8040 高知県高知市神田2384-6	TEL 088-831-6993 FAX 088-832-0922	香川　徳島　愛媛 高知
福岡サービスステーション	〒811-3224 福岡県福津市手光1935	TEL 0940-43-7710 FAX 0940-43-7712	福岡　長崎　佐賀　大分 宮崎　熊本　鹿児島
沖縄サ　ビスステーション （沖縄太陽サービスセンター）	〒901-2134 沖縄県浦添市牧港 268	TEL 098-879-0775 FAX 098-963-5241	沖縄

※窓口,電話番号,所在地,サービスエリアは変更する場合がありますのでご了承願います。

LG Electronics Japan 株式会社

〒107-8512　東京都港区赤坂2-17-22
赤坂ツインタワー本館9階

ENERGY STAR® パートナーとして、LG は本製品または本製品モデルが省電力に関する ENERGY STAR® のガイドラインに適合していることを確認しています。